ハンドボール「第55号目次」

昭和43年7月号

表紙写真　インターハイ予選は全国各地で熱戦をくりひろげたが東京大会では中大附—明星と早くも昨年の一・三位が対戦。

時評

ナショナル レフェリー制度の検討を

▽……″選手と審判員″——それは宿命的な間柄である。だからというわけではないが、これまで選手やチーム関係者は試合ごと、大会ごとに審判員に対する批判を云いつづけていた。なかでも、大会によって、あるいは審判員によって判定の解釈が違うことは大きな問題となっていた。あるチームなどはマネジャーや控選手に審判員のクセをメモさせ、それにそって策戦を建てるといったことまでしていたという話だ。

▽……5月末、東京で開かれた全日本大会担当審判員研修会は初めての試みであったが、審判員の自覚を促すと同時に、ルール解釈の統一を企るという点で、かってない成果をあげたようだ。

これまでにこのような研修会がなぜ開けなかったのか、などと今さらせんさくしてもしかたがないがともかくも「今年はこうしていこう」という線を打ち出したのはいい。

審判部の姿勢に大いに拍手を送りたい。

▽……なんの問題にしろ統一した線（構想・方針）というものが斯界には少ない。

何万といる関係者の声をいちいち採りあげていたり気にしたりしていたのでは、何時までたっても堂々めぐりをするばかりで、前進する結束力にはならない。

集約した方針を自信をもって披れきし、加盟団体や組織をリードしていくのが日本協会の責任である。

今回の審判部の行動を他パートも見習って、つねに明日のことを考える態度が強められることを期待しておこう。

▽……ところで審判部にひとつ提案をしよう。「ナショナル・レフェリー制度」の検討である。

今年採った方法をさらにすすめ「ナショナル・レフェリー団」を各年度初めに日本協会と審判部が指名して編成し、この人たちに全日本総合、全日本選抜の2大会と国体のすべての試合の審判を担当させるのだ。

また、実連、学連、高体連など加盟団体からの要請があれば、それら団体の全日本大会にも派遣したらよい。

▽……プレイヤーたちの憧れである″ナショナルチームメンバー″は今や二千人に一人ぐらいの割の狭き門である。

審判員の階級も「A」の中から判定に対する感覚、経験、体力などを総合した力倆の特選ランクがあってもおかしくはないだろう。また更に厳選して「国際審判員」に推薦することも考えられる。

それが、審判員同士の目標であり、競争になったとしたら、文字通り″質的向上″が果されると思う。（S・S）

競技局長 若崎、事業局長 的場、事務局長 岡村の3氏

機構改革にともなう新人事内定

日本協会では、県案の機構改革を7月から実施することになり、それにともなうスタッフの人選をすすめていたが、6月13日の常務理事会でその大要を決めた。

今回の機構改革は、2月の全国評議員会で荒川理事長が、新年度の方針として承認をうけていたもので、新たに競技局、事業局、事務局の3局が設けられるなどかなり模様がえされたが、実質的には執行部が任期中のためこれまでの専門委員会が異動しただけで、多少の新委員が登用されたもののこの面での新鮮味に乏しいのはやむをえまい。

なお理事長以下局長、部長、委員の任期は来春の役員改選期までである。内定した新しい人事は別表の通り。

注目の3局長には本誌53号既報の通り競技局長に若崎重富常務理事（日体大出・神奈川県協会理事長）、事業局長に的場益雄常務理事（東京教大出・JOC委員）、事務局長に岡村昭二常務理事（東京教大出）がそれぞれ就任した。

このほか、9つのパート（部）の責任者には安藤純光（審判部）、中沢重夫（技術部）、増田一郎（報道部）、藤本強（機関誌部）、浜田猪三郎（財務部）らが前年度の委員会に引きつづきそのポストに就いた。いずれも昨春担当以来、前向きの姿勢で成果をあげているだけにいっそうの充実が期待できよう。

渉外部は国内、国際とも人選中で、この日までにスタッフが固められなかったが、今後大きな仕事が積まれる国際部門には藤本強（機関誌編集長、競技規則委員）、久田暁（早大出）氏らが候補にあげられている。7月の常務理事会までには決定をみるだろう。総務委員会（庶務、登録）は今後増員の予定。

強化対策本部員の決定は遅れる

今回の機構改革によって新設された選手強化対策本部のメンバーについても、6月中に内定し発表される予定であったが、3局9部の全スタッフが出揃わなかったため、発足が若干遅れることになった。

選手強化対策本部長に決定している荒川清美理事長は『8月の全日本総合選手権までには公表できるようにしたい』といっている。

徳永常務理事が辞任

普及部長就任が予定されていた徳永陸繁常務理事（日体大出、全国高体連副部長）はこのほど一身上の都合で辞表を提出した。

徳永氏は体協競技力向上委員もつとめていたが後任は7月の月例常務理事会で決める。

理事長 荒川清美（兼選手強化対策本部長）

競技局（局長・若崎重富常務理事）

▼審判部（部長・安藤純光常務理事）
- ▽審判審査委員会　藤田八郎・藤田信義・山田　計・稲石三二・嶋田新太郎・入江暢一・箱崎敬吉
- ▽競技規則研究委員会　佐野和夫・岡前義春・藤原　侑・大塚文雄・藤本　強・勝繁夫・北川勇喜
- ▽審判部長会議　松田　徳之助（北海道）箱崎敬吉（東北）清水　正（関東）嶋田新太郎（北信越）山田仁止（東海）増岡茂義（近畿）辻　一義（中国）越智武（四国）小袋是郎（九州）

▼技術部（部長・中沢重夫常務理事）
- ▽技術資料調査委員会　細井操・渡辺慶寿・村田　弘・大西武三・西山逸成・北川浩・中出盛雄・磯部浩・宮本西嗣・富田隆祐
- ▽用具委員会　佐野和夫・近藤金博・上久保重次・池田鉄哉・田中秀夫・川上整司津島達郎・藤田信義・森　恭一
- ▽技術指導体系作成委員会　勝　繁夫・村田弘・東嘉伸・高橋英次・北川勇喜・清水正・中野偉夫・奥村広重・竹野奉昭中根敏男・宮原俊隆・宇津野年一・高山政悟・中出盛男（予定）
- ▽技術部ブロック選出委員　遠藤健次（関東）片瀬喜代次（東海）小西博喜（近畿）荒木時弥（九州）（注）他地区委員は未決定
- ▽優秀チーム・優秀選手選考委員会　審判部・技術部・普及部・全日本実業団連盟・全日本学生連盟・高体連・教職員・一般の各パートから各2名（計16名）

▼普及部（部長・未定）
清水　正・高橋健夫・宇津野年一・津島達郎（1名未定）他にブロック（9名）都道府県（46名）計55名の委員

事業局（局長・的場益雄常務理事）

▼企画部
- ▽企画委員会常任委員　的場益雄（部長兼任）徳永陸繁・浜田猪三郎・安藤純光・入江暢一・佐野和夫
- ▽企画委員会委員　石切山稔治・佐藤敦・栗脇嶷・若山　博・森田正英・藤田信義越智　武・藤田八郎・平仲孝栄

▼渉外部（部長は当分の間的場局長兼任）
- ▽国内渉外委員会
- ▽国際渉外委員会
（人選中）

▼報道部（担当・増田一郎常務理事）
下部委員会特になし

▼機関誌部（編集長・藤本強常務理事）

事務局（局長・岡村昭二常務理事）

▼総務部（部長・岡村局長兼任）
- ▽総務委員会　中野偉夫・高田日呂美

▼財務部（担当・浜田猪三郎常務理事）

▼事務局員　大越秀雄・河原井葉子

全日本高校優勝校（男子）を派遣

日韓高校ハンドボール再開決まる

日韓高校ハンドボールが4年8ケ月ぶりで再開される――。

体協と全国高体連では、中断していた日韓高校スポーツの復活について検討していたが、今春、韓国側から今夏ソウル（京城）で第1回日韓高校総合競技大会を開きたいという申し入れがあったことから急速に話が進み、6月6日東京で開いた全国高体連理事会でハンドボールなど7競技に日本選手団を送ることを決めた。

競技会は8月14日から5日間（予定）ソウル市で開かれるが、日本選手団は8月12日羽田発の日航特別機で出発する予定。

ハンドボール代表として派遣されるのは役員三（うち一人は日本協会役員）、選手十三人の合わせて十六人。選手については、全国高体連理事会の申しあわせで、7月29日から広島で行われる第19回全日本高校選手権の優勝校を推すことに決定、役員については一名を日本協会と高体連ハンドボール部が話し合つて人選し、残り二名は7月中に基本線を決めることになっているが代表校の関係者に落ち着きそうだ。

ハンドボールの日韓高校交流は今度が3回目。日本の代表が訪韓するのは2回目である。これまでの成績は別表の通りで、最初の交流では、日本側に一日の長が認められたが、翌年に来日した韓国代表の実力は日本側がシーズン・オフであったハンデを差し引いてもみちがえるばかりに成長し、予想さえしなかった1勝5敗という成績に終っている。

その後、39年、40年に男女の遠征が予定されたが、種々の事情から実現されず、41年以降は、ハンドボールに限らず、すべての種目の交流が途絶えていたもので、今回の再開はハンドボール界はもとより、日本スポーツ界にとっても大きな喜びである。

今夏の交流は、できることなら前回同よう選抜チームをという希望もあったが、韓国側の希望する期日と、全日本高校選手権との日程が近く、渡航手続きその他の準備に時間がかけられぬため、各競技とも全日本高校選手権優勝校ということが申し合わされた。男子に限定されたのは韓国側の希望による。

高校の単独チームが海外遠征するのは球界はじめてのこと。

深い結びつきの両国

ところで、韓国ハンドボール界と日本の結びつきは深い。

現在、韓国協会の首脳部を固めているのは、第二次大戦前、日本（主に日体、教大）に留学してハンドボールを習得して帰った人たちで、当時日本のトッププレィヤーとして鳴らした人も少なくない。

つまり、日韓両国ハンドボール界は同じ畑から芽生えたといってもよいのである。

また、現在IHF（国際ハンドボール連盟）にアジア地区から加盟しているのは日本、韓国、イスラエルの3ケ国（注・中共は未加盟）でイスラエルはその活動のほとんどをヨーロッパ地区で行っており、実質的には日韓両国だけである。

〝世界〟への進出とアジアのハンドボールを確立するためには両国が協力して進むべき立場であり、間柄でもあるのだ。

高校界の交流復活をキッカケとして、いっそう日韓両球界の友好が高められることは有意義であり、これを機に再び学生界の交流さらにはナショナルチームの往来へと発展することも大いに期待できる。

ヨーロッパへ出かけなければ、外国チームと対戦できないというのでは日本としても困る。両国の対戦により、レベルをあげ、アジアのハンドボールを世界に雄飛させることが必要である。

また、日本側にとって韓国球界が、ミュンヘンオリンピックにどのような関心を示し、対策をたてているかも見逃せないところだ。アジア予選が行われるとなれば盟友は同時にライバルでもある。

選手団に随行する役員には、こうした諸問題の協議と実現への検討が課題として望まれることになるだろう。

47年の全日本高校は山形

全国高体連では、昭和47年の全国高校総合体育大会を山形県で開くことに内定。ハンドボールは東根市が予定されている。

なお、来年以降の開催地は44年が群馬県（ハンドボールは富岡市）、45年和歌山県、46年は山口県または四国となっている。

日韓高校交流これまでの成績

① 全日本高校男子訪韓（昭37. 8. 31～9. 7）

スコア	相手	場所
○22—9	東星高	ソウル
○17—8	麻浦高	〃
（以上7人制）		
○16—6	養成高	ソウル
○18—8	大倫高	〃
○14—7	晋成高	〃
△7—7	五山高	〃
（以上11人制）		

② 韓国高校男子来日（昭38. 11. 29～12. 7）

相手	スコア	場所
明星高	19—11●	東京
茨城高校選抜	18—38○	水戸
名古屋高校選抜	19—24○	名古屋
兵庫高校選抜	19—22○	神戸
大阪高校選抜	17—23○	大阪
福岡高校選抜	20—37○	小倉
（以上何れも室内）		

〔参考〕 昭36. 日体大男子訪韓
昭38. 韓国学生選抜来日

全日本大会審判員研修会（5月東京）報告

審判部長　安　藤　純　光

日本ハンドボール協会の画期的な事業として、審判部の計画による全日本大会審判員研修会は、さる5月26日、27日、28日の3日間にわたって、青少年総合センターおよび駒沢第2球技場において開催されました。反省すべき点が多少あったにしても、計画した日程を順調に消化し、第1回としては充分な成果をあげ初期の目的を達することができたと思います。

これまでにもこの種の研修会の必要性が叫ばれ、ハンドボール界の各方面から要求されておりました。この度審判部の重点施策として開催にふみきったわけであります。幸にして99％の出席を得て盛り沢山な日程を消化し得たことは、参加された各位と審判部委員諸氏の御協力の賜ものであると存じます。

これを実施致しますまでには、審判部合同会議におきまして、昨年度より討議を重ねてきましたが、何分にも予算的な措置が充分でなく、参加の各位に多大の御迷惑をおかけしたことと思います。しかしながら、これらの障害をのり越えて、ハンドボールを熱愛する各位の参加を得て開催できましたことを主催者の一員として深く感謝致しますとともに、今後とも一層御支援御協力を賜りたく誌上を借りてお願い申しあげます。

この研修会のねらいとするところは、後掲の要項にもありますように「競技規則の解釈の統一をはかるとともに、審判技術の向上」を目的としております。レフェリーの審判技術が、ハンドボール技術の発展に大きな役割を演じることは、いまさら云うまでもないことであります。技術の進歩をうながすのも、阻止するのもレフェリーの審判技術であると云っても決して過言ではないでしょう。このように考えますと、そのゲームにおいてのみならず、日本のハンドボール界においてレフェリーの果すべき役割は、きわめて大きくまた重要なものであります。

この役割と責任を果すためには、ハンドボール競技の理念を理解し、競技規則に精通、正しく解釈され適用されることが必要であります。そしてさらに、その理解や精通あるいは解釈や適用が統一された共通なものでなければなりません。これまでにもしばしば耳にするような地域差、たとえば関東では……、とか関西では……と云ったようなものであってはならないわけであります。すべてのレフェリーが全く同一の笛を吹くと云うことは至難なことであると思いますが、できる限りの努力と方法をつくして理想に近づけるのが、われわれレフェリーのつとめであります。

今回の研修会のねらいと必要性は、ここにあるわけであります。この理想に近づく一つの方法として全日本大会審判員研修会が実施されたのであります。したがって、今年度全日本各大会の審判員予定者は必ずこの研修会に出席しなければならないこととしました。

――以下本研修会の研修内容と成果について報告致します――

第一日は研修会にさきだって日程にしたがい13時30分より開会式が行なわれた。

○保坂会長代行のあいさつ（要旨）。

日本ハンドボール協会がはじめての試みである全日本大会審判員研修会であるが、協会はこの研修会の成果に大いに期待をもっている。球技では審判の主観によって判定する場合が多いのであるが、ところにより、ときによって判定がちがうなどということのないように判定を統一し、プレイヤーが安心してプレイできるように充分研修して成果をあげられるようにお願いする。

○荒川理事長のあいさつ（要旨）。

スポーツにおけるレフェリーは、競技規則に精通するだけでは、その任務を遂行することはできないであろう。スポーツの本質あるいは競技の理念を理解して、それらを基礎としてスポーツを運営するレフェリーの立場を考えてもらいたい。ハンドボール界は、この研修会に大きな期待をもって注目している。多大の成果をあげられるようお願いする。

○若崎競技局長のあいさつ（要旨）。

はじめての試みであり参加各位に御不便をおかけする点が多々あると思うが、よろしく御協力下さるようお願いする。

以上で開会式を終り、ひきつづいてセンターでの生活、研修会について、それぞれオリエンテーションが行なわれた。そのあと14時30分より参加者全員が各分科会にわかれて、それぞれ分担のテーマについて熱心な討議が行なわれた。各分科会の討議の結果は19時30分よりの全体会議に報告、それ

それについて討議が行なわれ次のような結論を得た。

【全体会議】（座長　山田　計。書記　佐野、岡前）

▼第1分科会の報告と討議（座長　山田仁止　書記　清水　正）

＜1＞規則書（第1条～第5条）

1　室内競技場（雨天の場合の予備競技場として）の大きさは最低どのくらいの大きさが必要か。

○臨機応変の処置をとるが、全国大会では少なくともサイドライン35mが望ましい。

2　背番号の大きさについて、

○規則書中の図は、20㎝平方には見えないが、20㎝平方の中に数字を最大限に書くように指導する。

3　5の9、防御側が下肢をあげてボールを止めようとした場合どう処置するか。

○ボールがあたったときには、下肢で操作したとみなして反則とする。

○ボールがあたらなかった場合でも「注意」をする。

4　4の8、コーナースローも直接得点できるが、ここにないのはミスプリントではないか。

○ミスプリントではない。この件については現行通りコーナースローも最後の一投に加えて実施する（IHFに問い合せる）。

5　ボールの検定について。

○現在の協会と業者との契約では、業者を指定する形になっている。この問題は協会用具委員会において検討することになっている。

6　ラインにゴムなどのものを使用してよいか。

○公式試合（屋外）の場合には石灰でラインをひく。

＜2＞ストーリングの解釈と適用の実際について。

○17の11、条文および（注）の通りに適用する。（レフェリーの主観、周囲の状況によって多少の差があってもやむを得ない）。

▼第2分科会の報告と討議（座長　藤田八郎　書記　箱崎敬吉）

＜1＞規則書（第6条～第9条）

1　6の5、ロードリブルの判定について。

○姿勢だけでは判定しにくいが、危険防止の面から頭をさげて低いドリブルの姿勢で入ってくる場合には接触前に反則をとる。

○アドバンテージを見ない方がよい。

2　ユニフォームをつかむ者に対する処置。

○原則としてユニフォームをつかむ者は、「注意」をして退場させる。

○ただし状況によっては「注

全日本大会審判研修会日程表

時＼日	5月26日（日）	5月27日（月）	5月28日（火）
6.00		起床・清掃	起床・清掃
		6.30.朝のつどい	6.30.朝のつどい
7.00		朝食	朝食
8.00			
9.00		グランドへ出発（駒沢第二球技場へ）	グランドへ出発（駒沢第二球技場へ）
10.00			
11.00			
12.00			
13.00	集合	実技研修	実技研修
	開会式		
14.00	オリエンテーション（生活，日程について）		
15.00	討議（分科会）		閉会式
16.00	休けい	帰宿時間（総合センターへ）	解散
17.00	夕べのつどい	夕べのつどい	
	休けい	休けい	
18.00	夕食	夕食	
19.00	入浴	入浴	
20.00			
21.00	討議	全体討議	
22.00	消灯	消灯	
23.00			

意」の場合もある。

○この退場は個人対象である。

3　相手にボールを投げつけた（意図的に）場合の処置

○「注意」し7mスローまたは退場を与える。

予定の時間を大巾に超過したので討議を打ちきり27日の全体会議に廻すこととし第1日を終了した。

第二日は、午前10時より16時まで駒沢第2球技場において、関東学生連盟新人戦のレフェリーと運営（ゴールジャッジ・記録）を各分科会が各コートを担当して実技研修を行なった。最後の試合（レフェリー平田幸夫）を全員で見て討議の対象としたが、その場で部分的に多少の討議が行なわれただけで全体会議の時間が不足のために討議することができなかった。

前日同様19時30分より全体会議を行なった。

【全体会議】（座長　嶋田新太郎　書記　佐野、岡前）

▼第2分科会の報告と討議

＜2＞退場になるケース、7mスローになるケースの判定についての統一見解を求める。

○競技規則書にあることを尊守する。

1　ゴール前のシュートチャンスの反則は7mスローである。

2　サイドからのシュートチャンスもフリースローになりがちであるが、同様に7mスローである。

3　退場のときレフェリーは、2分、5分、追放などの意志表示をはっきりする。

4　退場者が多い場合には、記録員と連絡をとって確実な退場時間をとるようにする。

▼第3分科会の報告と討議（座長　稲石三二　書記　勝　繁夫）

＜1＞規則書（第10条～第13条）

1　スローインの位置。

○ボールがサイドラインを出た地点から行なう。したがってボールが出た地点のサイドラインの前まで来て行なう。

2　13の1（I）の（　）の中の10の5を削除し、16の7を追加する。

＜2＞フリースローの不正配置に対するルール適用の統一見解を求める。

○13の5原注にあるように防御側の場合は連続動作で影響のないときはそのままでよい。しかし「注意」の後、再び3m以内に近よった場合は退場である。

○攻撃側の場合は規則書の通りに行なう。

（フリースローライン内に入ればフリースローである）。

○フリースローの際、防御側が3m内にいて、はなれようとしている場合にはそのまま行なう。

○ボールをスローする前に定位置から前に出た場合には、笛を吹いて位置を正して行なわせる。

▼第4分科会の報告と討議（座長　越智　武　書記　大塚文雄）

＜1＞規則書（第14条～第17条）

1　14の1（A）攻撃側に対して粗暴な…とあるが、粗暴な行為とは具体的にどのようなものか。

○6の4～9を参照し、とくにボールに対してではなく人に対しての粗暴なプレーは厳重に注意する。

2　7mスローの際（14の3）、笛が吹かれた後にスローを行なう者がボールを落した場合の処置。

○スローをする者自身のミスでシュートしなかったのであるからフリースローである。

3　レフェリースローは、どのくらいの高さにボールをバウンドさせればよいか。

○　3mぐらいが望ましい。

4　17の5（法）の文章を「記録係に得点を委任することができる」とした方がよいのではないか。

○審判部において検討する（保留）

＜2＞選手のプレイにおけるマナーおよびベンチのマナーについての処置。

○反則時に競技を遅らせるような者（ボールを遠くに投げすてていく者など）については①「注意」し、②退場させる。

○レフェリーをけんせいする者には「注意」を与える。

○同一チーム内でのみぐるしいあらそいやののしりあいはさけるように指導する。

○ベンチでのタバコは厳禁する。

○ベンチ附近のヤジ、スタンドでのヤジは控審判員または本部で注意する。

○サイドコーチについて

(1)　暴言、ヤジは厳禁する。威かく、ばとうはヤジである。

(2)　声が大きくてもサイドコーチは、サイドコーチである。

○7mスローが終るまで声を出さないように指導する。

○ベンチは前半終了と同時に交代する。

○トスはメンバー提出のときに行なう。

以上のような解釈の統一が行なわれたが、全体会議の時間が充分ではなかったことが痛感された。

参加者のアンケート結果

本研修会期間中、次のようなアンケートを配布して解答を求めた。回収の手続きが悪く全部を回収できなかったが、下記のような結果を得たので次回の参考にしたい。

1　研修会開催の賛否について、

解答者全員（22）が賛成であり、その理由としては

○規則解釈の統一を実現することができる（13）

○多年の念願が実現し、前向きの姿勢大いによし（3）

○大変勉強になる（2）

であった。研修会開催の必要性とあわせて、その成果が期待されていることがわかる。

2　開催時期について

○今回と同時期がよい（11）

○3月下旬（休暇中）（4）

○4月下旬（2）

○その他5月初旬、2月（2）

であった。

今回の時期は、高等学校の試験期でもあり出やすいとの意見が多かった。研修会のための試合ということになるとプレイヤーも真剣さにかけることも考えられるので今回は関東学連にお願いして、研修会に利用させてもらった。その結果可成りの成果をあげたと考えられるので、来年度の場合も新人戦を、ということになればこの時期になると思われる。

3　研修会の方法について

○今回の方法でよい（3）

〔分科会・全体会議〕

○研究討議の時間をもっと多くしてもらいたい（6）

○分科会のテーマを早く参加者に知らせるように（3）。分科会を参加者に選択させる（1）。

〔実技研修〕

○分散せずに同一の試合を見て研修する方法をとった方がよい（6）。

○実技研修の時間を多くしてもらいたい（3）

であった。今回の日程は3日間では最大限であり、解答にあるように、とくに研究討議の時間が不足であった。実技研修の方法についても研究の余地がある。

4　その他

○日程がつまりすぎている（3）。

○予定通りに、もっとびしびしやってほしい（2）

○参加費用（旅費）について考慮してほしい（3）

○遅参、早退者に対する処置を考えるように（2）

などであった。

5　研修会に参加した感想

○非常に有意義であった（7）

○青少年総合センターを利用したことは研修会にふさわしく、よかった（4）

○大変勉強になった（3）

○継続して実施してほしい（2）。

以上であった。これらを参考意見として、次回にはさらに充実した計画をたて、よりよい研修会にし、より大きな成果をあげるべく努力したい。

なお、今回は参加者全員青少年総合センター（旧・オリンピック選手村）に合宿し宿泊費のみ日本協会が負担した。

終りに協力をいただきました関東学連の役員諸兄と、各大学選手諸君に誌上を借りて深く感謝致します。

安藤審判部長に第一回の研修会の報告を寄せてもらいました。読者のみなさんもよく読んで、日本のハンドボールの審判技術の向上にはげんでいただきたいと思います。これからもどしどしこういった催しが開かれるよう願っています。

参加者名簿（分科会別）

第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
今村　孝一	岡田　豊夫	平岩　魁	石川　宏
片山　彰一	丸口　哲美	佐々木　茂喜	野村　良水
中沢　重夫	西川　勤也	岡本　克彰	村田　弘
梅野　克雄	金原　至	河本　武夫	柳井　文治
平田　幸男	岡村　昭二	遠藤　健次	狩野　幸介
中西　敬一	近藤　正行	若山　博	藤原　豊
山田　進	小西　博喜	山本　孝男	宍戸　幸一
上田　喜代治	間瀬　和義	富樫　栄	金沢　淑郎
岡村　久	玉城　修	勝　繁夫	森　恭一
佐分　正典	碇　一夫	磯部　浩	桶家　寛
岡田　博	島田　秀四	関川　正道	森　豊夫
田中　秀夫	箱崎　敬吉	川口　譲	日野　博
辻　一義	増岡　茂美	加藤　雅之	越智　武
山田　仁止	藤田　八郎	吉沢　正登	嶋田　新太郎
清水　正	藤田　信義	稲石　三二	山田　計
小袋　是郎	佐野　和夫	若崎　重富	荒谷　拓三
安藤　純光	北川　勇喜	岡前　義春	横瀬　正寿
藤原　侑			大塚　文雄

日体大、住友化学など出場

全日本総合の推せんチーム

全日本学生連盟と全日本実業団連盟は8月10日から長崎市で開かれる第20回全日本総合選手権に出場する推せんチームを次のように決め発表した。

学生代表は各地春季リーグ戦を実業団代表は2月の全日本実業団選手権をそれぞれ参考にして選出された。

なお、日本協会推せんチームは本誌既報の通り、大崎電気(埼玉)、全立教、芝浦工大、東京教育大(以上東京)、大阪イーグルス（大阪）の5チームに決まっている。

▽全日本学連推せん（10チーム）

東北大（東北北海道・宮城）
日体大（関東・東京）
中央大（関東・東京）
法政大（関東・東京）
明治大（関東・東京）
中京大（東海・愛知）
同志社大（関西・京都）
関西大（関西・大阪）
関学（関西・兵庫）
山口大（中四国・山口）

▽全日本実連推せん（4チーム）

住友化学菊本（愛媛）
三景（東京）
宗形製作所（大阪）
日本鋼管福山（広島）

（注）全日本実業団選手権3位の富士レジン（兵庫）が辞退のため日本鋼管福山が繰りあげ出場。

各ブロック代表も

第20回全日本総合選手権に出場する各地域（ブロック）代表は5月の九州予選で熊本ク（熊本）が出場を決めたのを皮切りに現在までに次の各チームが勝ち進んでいる。北海道地域は今年も棄権となり同地域のワク数1は学連にまわされた。

本大会の男女組み合せは7月6日東京・日本協会で行われる。

▽東北　東北学院大（宮城）
▽関東　埼玉教員（埼玉）
　A・O・K（栃木）
▽北信越　福井教員（福井）
▽東海　桜丘会（愛知）
　常盤工業（岐阜）
▽近畿　6月30日に決定（2チーム）
▽中国　全広島（広島）
▽四国　未定
▽九州　熊本クラブ（熊本）
▽長崎　長崎クラブ
　佐世保クラブ

世界女子、12月13日から延期

国際ハンドボール連盟（IHF）は、今秋11月に開く予定の第4回世界女子7人制選手権の会期を12月13日から21日までに変更すると発表した。

これは開催国ソビエト側の都合によるもので、日本、デンマーク西ドイツの出場する準決勝リーグC組は12月13日から15日までレニングラードで行われ、各組上位2者による決勝ラウンドは17日からモスクワで開かれる。

会期の変更（延伸）によって日本協会と代表選手団は、国内での強化合宿などを一部変更せざるを得なくなり、近く協議されるが、今のところ、7月30日からの第3次強化合宿（熊本市）は予定通り行ない、第20回全日本総合にも〝全日本女子〟として出場するが、そのあと国体時（10月1日～6日・福井県高浜町）の第4次強化合宿をとりやめ各選手は所属チームから、国体出場を狙うことになりそうだ。

そして11月に入って、東京で最終合宿を行い、12月上旬羽田を出発し、二、三のトライアルゲームを行ってレニングラード入りすることになる。

トライアルゲームについては現時点ではオランダ、ポーランド（ともにナショナルチーム）との対戦が希望されているが未定である。

それにしてもこの大会ははじめから〝変更つづき〟だった。

参加申しこみの意思表示が16ケ国に満たぬため、14ケ国のフル出場がいちどは申し合せられながら、ソビエト側が昨夏になって8～9ケ国のみ受けいれると通達して来たため、急きょヨーロッパ予選が行われることになりその組合せが決められたのだが前回の1、2位両国に無条件出場権を与えてしまい（IHF規約では前回1位のみ予選を免除される。今回はハンガリー）改めて9月オスロで抽せんされた。

さらに、10月になって日本からの公式参加申しこみ書が延着して舞いこみ、IHFは、いったんはその出場を拒否したものの、この問題をソビエト協会に一任することにより、今春1月、日本の参加をIHF、ソビエトともに認めることになった。

これで、ようやく準備なったかにみえたが、今春4月7日、IHFが本大会の組合せと会期を11月16日から24日までと公表したところ、その10日後にソビエトのタス通信が会期は12月13日から21日までと打電し、またまた関係者をあわてさせた。5月上旬に日本協会へ届いたIHF公報4月号では〝11月〟と記されており、日本協会と代表団（田村団長ら16人）は、予定どおりの強化プランで国内の準備をすすめていた。

日本からの申しこみ書延着は論外としても、このように混乱がつづいたのはハンドボールの世界選手権では初めてといってよい。今回の変更は新設中の会場の完成が遅れたためと伝えられるがいずれにせよIHFとソビエト協会との間の連絡がうまくいっていなかったと見るムキが強い。

近い将来、世界選手権を東京に招致しようという声も聞かれる日本協会にとっても教えられるところが多い。

アイスランドが交流を希望

アイスランドハンドボール協会は、一九七〇年（昭45）の第7回世界選手権に出場する日本男子チームがその途中で同国に立ち寄り1～2試合対戦することを希望していると、このほど日本協会へ通知して来た。

アイスランドチームと日本チームは男女いずれもこれまで1回も試合していない。

同国は各種大会に出場しているが、芳しい成績はない。

海外トピックス

藤本　強

ETVハンブルグに続いてユニオン03ハンブルグが優勝
―西ドイツ女子選手権―

昨年度は昨秋来日した西ドイツチームのホイヤー、ロイターを中心にしたETVハンブルグが西ドイツ選手権を獲得していたが、今年度はミュラー、ミルターを主力にしたユニオン03ハンブルグが西ドイツの女王の座についた。

今年度の西ドイツの選手権は男子がSG・ロイターハウゼンの優勝(52号既報項参照)、女子は名門FC・ニュールンベルグと古豪ユニオン03ハンブルグの対戦となった。試合は終始ユニオンがリードを続け、結局11―7で勝利を握り、栄光の座についた。この試合、ミュラーの大活躍があり、一人よく4点をたたきだし、ユニオン勝利の原動力となった。またミルターも2点をあげ、ユニオンに勝利をもたらした。

このように昨秋来日した西ドイツチームの女子の主力は引きつづき西ドイツ球界で大活躍をしている。今秋の世界選手権、今冬のヨーロッパ杯での活躍が期待されている。

大荒れに荒れた決勝戦
―西ドイツ男子選手権―

本年度の西ドイツ男子選手権は既報のとおり、SGロイターハウゼンの握るところとなったが、この試合、最近の大試合の例にもれず、荒い、荒れに荒れた試合となった。KOあり、なぐりあいもあるといった試合がくりひろげられたのであるから、全くひどいという言葉がピタリと当る試合であった。

得点王シュミットもボディに一発入れられ、また移入選手コスメールは足をかけ、たおされる。グンメルスバッハも負けずに、二人かがりでロイターハウゼンのキーパーにこぶしをあげるといったひどい試合であった。こういうことがある度に荒さを嘆く声が非常にあがるが、一向に改まらないのは全く嘆かわしい傾向である。ヨーロッパ杯の決勝戦でも、6人の退場者を出しているのを見ても、いかに荒れた試合であったかが判ろう。

現在のヨーロッパ球界の大試合の傾向は何が何でも勝たねばならぬという感情が先にたち、相手のポイントゲッター、ゲームメーカーを狙い、それを痛めつけようとする動きが強い。

世界選手権でも、こういった傾向が見られるようである。充分心していかなければならないであろう。

ゴールキーパーにはマスクを
―デュクラ・プラーグのヴィチヤ選手の場合―

世界的に有名なデュクラ・プラーグは名コーチ、ベードリッヒ・ケーニッヒ氏に率いられたチームとして知られており、今シーズンも惜しくもヨーロッパ杯は二位におわった。デュクラは昨年に引きつづき、連続二位となった。

このチームのゴールを守っているのは、本年37才のジリ・ヴィチヤ選手である。ヴィチヤ選手は世界選手権に出ること数回の大ベテランである。

彼は写真のように顔にマスクをかけ、ゴールを守っている。もっとも先日行なわれたヨーロッパ杯の決勝戦では、マスクを外し、ゴールを守り、グルイア、オテレアなどの若い選手の強シュートをさばいていた。

このマスクは特に最近多くなっているゴールキーパーの負傷を少しでもへらすように考えだされたものである。

ハンドボールではほとんどまだこのようなマスクは使用されていないが、アイスホッケーでは、数年前から、同様のマスクをキーパーが使用するようになり、好評を得ている。

ハンドボールでも、ゴールキーパーは特に危険のある位置でもあり、このようなマスクの採用は十分検討する必要があろう。

我国においても、早速、研究・検討する必要があると考えられ、より高度の、より安全なスポーツにハンドボールをするように努力していかなければならないであろう。

営業三課／栗田満夫

チヨダは印刷機材の合理化を推進する総合メーカーです。

パーフェクトは夢の印刷機（全自動）です。
超薄紙から厚紙まで、忙しい人手の足りない工場に大好評。

営業一課／庄司政雄

パーフェクトはたくさんの賞賛の言葉をいただきました。よい製品をつくる励みになります。

営業三課／打林行夫

本社新社屋

新製品 **パーフェクト** 全自動B四截凸版印刷機

千代田印刷機製造株式会社
千代田印刷材料製造株式会社

本　社　東京都千代田区神田猿楽町１－４　ＴＥＬ　東京（292）2011（代）～８
横浜支社　横浜市西区高島通り１－７　ＴＥＬ神奈川（045）44－6572・7358・7028
福岡支社　福岡市御供所町３番16号（聖福寺前）　ＴＥＬ　福岡（28）3960・0153
立川工場　東京都昭島市東町１丁目１番地５号　ＴＥＬ　立川（0425）２－2470・4383
九州工場　佐賀県小城郡牛津町（牛津駅前）　ＴＥＬ　牛津　72

横浜支社

関東勢中心に混戦の男子

10日から松山で全日本学生選手権

男子第11回、女子第4回全日本学生選手権は7月10日から14日まで愛媛県松山市（松山商大、松山北高球技場）で開かれる。

参加校は男子36、女子8校といずれも史上最高。組み合せは6月9日東京で行われ別表のように決まったが、春のリーグ戦を資料に優勝の行方を探ってみよう。（編集部）

男子はトーナメントで進められるがこれまでの優勝校芝浦工大や立教（いずれも関東）のように抜群の戦力を持つチームがなく優勝争いは混とんとしている。

しかし、今年も関東勢と他地区との実力差はかなり開きがあるようでよほどのことがないかぎり関東勢以外から優勝校は出ないだろう。関東諸校が春のリーグ戦で展開した混戦模様を松山に舞台を移して再現することになるのではなかろうか。

Aブロックで有力とみられるのは、2連勝を狙う立教をはじめ関学(関西)、早稲田(関東)、西南学院(九州）あたりだ。

立教は前年優勝のメンバーから木野、北村が抜けたのは痛いが野田、東、小野口、倉前、戸田らの攻撃力は巧さでは際立っている。

問題は関東学生で敗れた早稲田との一戦だ。森田、萩原、両鈴木GK綿貫らを軸に力で押しこんでくる早稲田の斗志は侮れない。

名門・関学は西野、辻本、細井らでソツなくまとまっているものの上位を狙う追力に欠ける。西南学院が坂田を中心にどこまで早稲田に食い下るかみもの。西部学生優勝の山口大（中四国）も元気だが、2回戦の相手が立教とは不運。

Bブロックは日体大(関東)と法政（関東）が勝ち進もう。

日体は関東学生で6年ぶりに優勝を飾り余勢をかって初優勝へ意欲充分だ。高橋、谷藤、早川、藤中、GK本田らが攻守の要。法政は春のリーグ戦では〝今年最大のダークホース〟という定評どおりの暴れっぷりで好調なスタートだったが、大山、石井、川島らが相いついで負傷し、息切れてしまった。レギュラーが揃う今大会は再びコートサイドを湧かすだろう。新人荒井、GK金のプレーもいい。気がかりなのは大山らがどこまで回復しているかで、ベストコンデイションならば日体も苦戦をまぬがれまい。

関大（関西）は昨秋ほど安定感がなく、馬着、宮永、西脇、松田らのチームプレーで日体をどう追いこむか。関西1位の同志社大が今年も試験のため欠場するだけに伝統の関西を代表して関東勢に一矢報いる斗志を期待したい。

有力選手を揃えながら二部転落の京大（関西）の奮起も注目される。

Cブロックは片方のサイドは東京教大（関東）がすんなり2勝をあげるだろう。関東学生では有力視されながら最下位に終ったが、平岡の突進力と浅野、稲垣、畑らの巧技がかみあうと強い。GK上野の堅守も大きい。片方のサイドは予断を許さぬ。古村、田中、GK山田らテクニシャンを揃えた慶応（関東2部1位）がもまれているだけに有利とみられるが、部創

【女子】

▽予選リーグA組	▽同B組
日　体（④・関東）	東京女体大（③・関東）
中京女大（③・東海）	中京大（③・東海）
東京教大（①・関東）	日女体大（④・関東）
松阪女大（③・東海）	大阪体大（①・関西）

予選リーグ各組上位2校により「決勝リーグ」を行うが、予選リーグの対戦記録も活用。
○内数字は出場回数。

立10年目で全国優勝を意気ごむ中京大（東海1位）、中四国ナンバー・ワンの岡山大、西村、水野らの攻撃力で関西の黒馬といわれる大阪経大の力も侮りがたい。特に高見、黒川、鈴木、吉田ら力と技を揃えた中京大の攻撃力は昨秋も立教を苦しめ抜いており無気味な存在。調子づけば慶応、東京教大も危いだろう。

ベストエイトを二年つづけて関東勢が独占するようではまったく面白くないわけで、その一角を切り崩すとすれば今年は中京大をおいてほかになさそうである。

Dブロックは中央、芝浦工大（ともに関東）が抜群。中央は森山、喜田、佐野、堀切、植木を中心にまとまっている。芝浦には春勝って自信がありもつれよう。芝浦工大は、今春最低の成績に終った。その汚名挽回をこの大会にかけている。明石、秦、白神、山中、高鍬、GK杉山（高橋）らAクラスの選手を並べ精神的に立ち直ってさえいれば優勝の実力は充分にある。

注目されるのは大阪体育大（関西）。4月の西日本学生では2部で優勝、宿願の1部入りも果した。上り坂の好チームである。坂口、伊藤ら得意のゆさぶりで、どこまで戦うか興味だ。地元松山商大（中四国3位）の健斗も待たれよう。

さて、順当に行けば準決勝は立教―日体、東京教大―芝蒲工大となる。波乱があるとすれば立教に代って早稲田、日体に代って法政が勝ち残り、もう一方のカードに中京大―中央が考えられる。

関東勢を並べてみた場合、春のランクは日体、立教、中央、早稲田、芝蒲工大、法政、東京教大（注・7位明治は今大会不参加）となるのだが、実力に決定的な差はなく、ましてや盛夏の一本勝負この序列はアテにならない。月なみな表現だが、大会終盤に調子の波に乗ったチームが優勝を掌中にすることになろう。

混戦、接戦でかなりエキサイトした場面も続出しそうだが4年ぶりの地方開催でもあり、名実ともに日本のトップゾーンを誇る学生界にふさわしいプレー、ゲームをくりひろげて欲しい。

また、この大会の成績が今年度ナショナルチームの選出の一つの有力な資料となることも確定的だけに高い内容のプレーを期待しておきたい。

日体大の〝連勝〟に注目

女子は新加盟の東京教大（関東）大阪体大（関西）がエントリー、にぎやかな大会になった。試合は4チームづつ二組の予選リーグのあと、各組上位2校で決勝リーグを争うが、焦点はやはり日体（関東）の連勝に集められよう。

日体は第1回以来無敗の4連ぱを狙う。しかも昭和36年秋からつづけている対学生チーム64連勝の記録をさらに伸ばそうとしている。

「連勝記録は重荷」といいながらはげみになっていることも事実だ。去年のメンバーから北口、隈らを卒業で失ったが川口、原、津熊、GK小野里らが健在のうえ石井が成長し、強力な布陣である。

対抗は東京女体大（関東）、中京大、中京女大（ともに東海）の三校。東京女体大は熊谷、浅見、中島、川島、大谷に新人姫野、高橋、関がよく動き力をあげている。

中京大は砂浜、森らを中心に気力充分だが守備力に不安を残す。中京女大は逆にGK北岡を軸とした守りはなかなかだが攻撃力にもうひとつ安定したものが欲しい。

日体に挑むという点では東京女体大が一歩先んじているようで、春のスコア（日体18―11東女体大）からみても、もつれる可能性がまったくないとは云い切れない。

残る4校のうちでは平林を持つ日女体大（関東）と石井喜八監督（日体大出）が率いる大阪体大（関西）が中京大に、山口を中心にした新参の東京教大（関東）が中京女大、松阪女短大（東海）にそれぞれ予選リーグでどこまで迫るかが興味といってよいだろう。関西から女子の学生チームが全国大会に出場するのは史上初めてのことである。

最近とみに実力をたくわえてきた女子学生界が、その定評を裏づけるような試合ぶりを示すかどうか、全般のレベルアップを大いに期待したい。

関西学生春季リーグ詳報

同志社大、手堅い試合運び

2位関西大、3位に関学

関西学生春季リーグ戦は5月3日から26日まで大阪大、大阪府立大球技場などで7日間にわたって開かれた（一部既報）

6校による1部は同志社大が関学、関大などに食いさがられながらも手堅い試合ぶりで全勝、2シーズンぶり通算13回目の優勝を飾った。

2部（6校）は大阪体育大、甲南大両校が同率となり得点率で大阪体育大が辛うじて上廻り初優勝リーグ戦後の入れ替え戦にも勝って昭和41年春に加盟以来5シーズンで1部入りを果たした。

3部は新加盟3校を加えた11校をAB両グループに分け、各組同位同士で順位決定戦を行った結果大阪外語大学が2シーズン連続首位となった。

▽1部

関西大 27（17－8、10－6）14 桃山学院

大阪経大 18（10－5、8－7）12 京都大

同志社大 18（9－5、9－9）14 関学

関西大 27（15－5、12－5）10 大阪経大

関西大 21（12－2、9－6）8 京都大

【京大】	得		【経大】	得
伊賀	0	GK	藤本	0
小林	0	GK	今井	0
足立	0	FP	西村	3
日下部	2	FP	森元	0
藤森	2	FP	水野	4
川島	5	FP	桐	8
三品	1	FP	木村	3
岡本研	2	FP	清水	0
笹川	0	FP	高川	0
光田	0	FP	児山	0
橋爪	0	FP	奥川	0

（主審 楠本）

18（0）7MT（1）12

同志社大 14（6－4、8－4）8 桃山学院

大阪経大 12（7－6、5－2）8 関学

関学 10（5－5、5－5）10 桃山学院

【桃山】	得		【関学】	得
岸井	0	GK	松田	0
		GK	久岡	0
菅沢	0	FP	西野	3
林	0	FP	辻本	2
今西	1	FP	大本	0
提本	2	FP	喜田	0
中村	0	FP	真砂	3
三国	2	FP	細井	0
土田	2	FP	末瀬	0
酒井	0	FP	山本	1
石村	3	FP	富永	1

（主審 井上）

10（1）7MT（1）10

同志社大 21（13—5、8—5）10 京都大
桃山学院 13（7—6、6—3）9 大阪経大
関　学 18（11—7、7—3）10 京都大
同志社大 12（5—6、7—5）11 関西大

【関大】	得
GK 西口	0
GK 和田	0
FP 飼沼	2
FP 馬着	1
FP 長野	0
FP 西脇	3
FP 松田	3
FP 宮永	2
許	0
宮松	0
中辻	0
計	11

【同大】	得
GK 和保	0
GK 二橋	0
FP 松浦	0
FP 舟木	3
FP 高橋	0
FP 町田	4
FP 光田	0
FP 大羽	0
FP 中井	2
FP 阪野	0
FP 中野	3
計	12

（主審 八田）
12（1）7MT（1）11

同志社大 20（9—7、11—9）16 大阪経大
関　学 23（13—6、10—8）14 関西大
桃山学院 20（10—6、10—1）7 京都大

2部は成長の大阪体大

▽2部
大阪大 13（分）13 大阪府立大
大阪体大 16—14 神戸大
甲南大 17—15 立命館大
立命館大 14（分）14 大阪府立大
甲南大 7—6 神戸大
大阪大 11—9 大阪体大
神戸大 14—8 大阪府立大
大阪体大 19—16 立命館大
大阪大 15—8 立命館大
甲南大 20—8 大阪府立大
立命館大 11—9 神戸大
大阪体大 33—5 大阪府立大
甲南大 16—9 大阪大
神戸大 17—8 大阪大
大阪体大 14—11 甲南大

関西学生春季リーグ（1部）

	同	関	学	桃	経	京	勝	敗	分
①同志社	…	○	○	○	○	○	5	0	0
②関西大	●	…	●	○	○	○	3	2	0
③関　学	●	○	…	△	●	○	2	2	1
④桃山学	●	●	△	…	○	○	2	2	1
⑤大経大	●	●	○	●	…	○	2	3	0
⑥京都大	●	●	●	●	●	…	0	5	0

（注）関学・桃山は得点率による
【2部順位】①大阪体大4勝1敗②甲南大4勝1敗③阪大2勝2敗1分④神大2勝3敗⑤立命館大1勝3敗1分⑥大阪府大2敗3分

▽3部Aグループ（6校）
大阪外語大 31—8 京都産業大
大阪市立大 11（分）11 大阪工大
追手門学院 31—12 大阪教大
大阪工大 18—17 追手門学院
大阪市立大 18—12 京都産業大
大阪外語大 27—12 大阪教大
大阪外語大 22—11 大阪工大
大阪市立大 16—15 追手門学院
大阪教大 16（分）16 京都産業大
大阪工大 16—7 大阪教大
追手門学院 19—8 京都産業大
大阪外語大 12（分）12 大阪市立大
大阪市立大 15—3 大阪教大
大阪外語大 31—14 追手門学院
大阪工大 16—12 京都産業大
【順位】①大阪外語大4勝1分②大阪市立大3勝2分③大阪工業大3勝1敗1分④追手門学院2勝3敗⑤京都産業大4敗1分（得56）⑥大阪教育大（得50）

▽同Bグループ（5校）
大阪歯大 18（分）18 大阪薬科大
京都教大 30—8 近畿大
京都教大 14—12 大阪薬科大
大阪歯大 25—7 近畿大
和歌山大 35—9 近畿大
和歌山大 17—16 京都教大
大阪歯大 10（分）10 大阪薬科大
和歌山大 14—11 京都教大
大阪薬大 41—10 近畿大
大阪歯大 28—10 和歌山大
【順位】①大阪歯科大3勝1分②和歌山大2勝1敗1分③大阪薬科大1勝1敗2分（得81）④京都教育大（得71）⑤近畿大4敗

▽3部9、10、11位決定リーグ
近畿大 14—13 大阪教大
京都産業大 18—8 大阪教大
近畿大 18—15 京都産業大
【順位】⑨近畿大⑩京都産業大⑪大阪教育大

▽同7、8位決定戦
京都教大 29—25 追手門学院
▽同5、6位決定戦
大阪薬大 20—19 大阪工大
▽同3、4位決定戦
大阪市立大 18—13 和歌山大
▽同1、2位決定戦
大阪外語大 20—11 大阪歯大

【後記】1部は2日目に関学が同志社に対し、前半互角に戦い、後半15分まで2点リードという試合展開になったが、そのあと同志社は同点に追いつき、さらに連続4点をあげて関学を振り切った。

5日目まで同志社と関大が全勝順当に勝ち進み、6日目両者が激突した。同大は、前半終了間ぎわサイドから町田が連続3ゲットして2点をリード。後半、関西大の粘りにあって17分同点とされたものの19分舟木、22分中井（7MT）で12—10とし、関大の反撃を27分の松田の1点だけにおさえて辛勝、つづく大経大戦にも勝って優勝を決めた。

関大は、2連勝を狙って好調なスタートだったが、同志社に敗れて元気を失い、中盤立ちなおった関学にも完敗、2敗の2位に終った。1部復帰の桃山学院は今一歩力不足の感はあるが大阪経大を破り4位に食いこむ健斗を見せた。

大阪経大は、力を出し切れず5位に終ったが、今後の努力を期待したい。京大は気力面で精彩なく全敗し19シーズン守った1部の座をすべり落ちてしまった。

2部は成長著しい大阪体大と1部カムバックをめざす甲南大、阪大の3校の優勝争いとなったが、最終日、1敗の大阪体大が、全勝の甲南大を敗って同率とし、得点率で甲南大を上廻り〃逆転優勝〃をとげた。

3部は、昨秋につづき大阪外語大が大阪市立大に苦戦した以外は毎試合20点以上を叩き出し優勝をとげた。新加盟の追手門学院が予想以上の健斗を示したのはたのもしい（松本秀夫・関西学連委員長）

関西学生各部入れ替え戦

▽1・2部
大阪体大（2部） 21（13—7、8—8）15 京都大（1部）
大阪体育大は1部へ初昇格
▽2・3部
大阪府大（2部） 15（9—7、6—6）13 大阪外大（3部）

【訂正】本誌前号、春季学生リーグ特集（6〜10頁）中、次の各項を訂正します。
▽東北・北海道＝⑦北海道大⑧山形大⑨宮城教育大を⑤⑥⑦位にそれぞれ訂正
▽北信越＝見出しの富山大6連勝は5連勝
▽関東＝東教大23—17法政大は立教大23—19法政大、東教大17—15東教大は立教大17—15東教大、東京教大18—14芝浦工大のスコアは18—12、明治大20—11法教大のスコアは20—5、日体大20—2法政大のスコアは20—5
▽東海＝名古屋大20—13静岡大は名古屋工大20—13静岡大
▽九州＝準々決勝西南学院11—9熊本商大は西南学院11—9久留米商大。したがって見出しの「新進久留米商大も善戦」は削除。

山口大、8年ぶりの優勝飾る
3連ぱ逸した西南学院大

第18回西部学生選手権は6月8・9の両日、熊本市の水前寺体育館に中四国と九州両学連から合わせて15校が参加してトーナメントで争われた。

その結果、3連勝を狙い、今年も優勝候補の筆頭にあげられていた西南学院大（九州）が、決勝で山口大（中西国）に完敗する番狂せとなった。

山口大の優勝は、昭和35年の第10回大会以来8年ぶり通算8回目である。中四国学連代表の優勝は3年ぶり12回目。

▽1回戦

岡山大（中四国） 27（13―6, 14―7）13 東海大（九州）
九州産大（九州） 不戦勝 山口大工学部（中四国）
広島工大（中四国） 26（13―4, 13―7）11 福岡教大（九州）
長崎大（九州） 15（5―6, 10―7）13 九州大（九州）
広島商大（中四国） 18（7―4, 11―9）13 福岡工大（九州）
鹿児島大（九州） 18（5―6, 13―4）10 近大呉工学部（中四国）
山口大（中四国） 20（7―6, 8―9, 2―1, 3―2）18 熊本商大（九州）

▽準々決勝

西南学院（九州） 17（7―8, 10―7）15 岡山大
九州産大 29（15―7, 14―11）18 広島工大
広島商大 13（7―5, 6―7）12 長崎大
山口大 14（6―6, 8―4）10 鹿児島大

▽準決勝

西南学院 16（8―4, 8―8）12 九州産大
山口大 15（9―5, 6―3）8 広島商大

▽3位決定戦

広島商大 19（7―8, 12―10）18 九州産大

▽決勝

山口大 26（12―3, 14―10）13 西南学院

中四国学連が快勝
初の対九州学連選抜戦

第1回西部日本学生選抜対抗戦全中四国学連選抜―全九州学連選抜の試合は6月7日熊本市営体育館で行われ、攻守にまとまりを見せた全中四国学連選抜が、前半でダブルスコアとし快勝した。

全中四国学連選抜 24（14―7, 13―10）17 全九州学連選抜

北大、初の道学生リーグに優勝

かねてからその結成が待望されていた北海道学生界初の選手権大会が6月16日北大体育館に4大学が参加して行われた。

大会はリーグ戦で進められ北大が攻守に一日の長を見せて優勝を飾ったが、これで北海道学連の誕生は時間の問題とみられいっそうの成長が期待される。

試合成績は次の通り

北海道大 27（12―2, 15―2）4 北見工大
釧路教育大 21（13―1, 8―5）6 小樽商大
北海道大 16（7―3, 9―7）10 釧路教育大
小樽商大 13（6―8, 7―3）11 北見工大
北海道大 20（12―4, 8―3）7 小樽商大
釧路教育大 24（11―5, 13―4）9 北見工大

【順位】①北海道大3戦全勝②釧路教育大2勝1敗③小樽商大1勝2敗④北見工大3敗

中四国学生春季リーグ・後記

（記録のみ本誌前号既報）中四国学生リーグは、回毎に1部、2部とも各校の力倆が除々に接近し「今一歩で優勝の希望も…」と意欲に満々（みちみち）た興味あるリーグ戦になって来ているのは喜ばしい。

昨秋の（覇）者山口犬が、大会前日の定期戦に大差をあけた気のゆるみのためか、攻防ともにバランスのとれた岡山大に敗れ去ってしまった。

今季から1部に昇格した松山商大が2勝2敗で3位に食いこんだ健斗ぶりはめざましく賞讃されよう。広島大福山もゲーム毎に巧さが増したが、デフェンスの甘さによる失点58（得点52）は一考を要すだろう。広島商大も同じように失点が61と多いうえ、得点が29と攻撃力も乏しく、奮起を促したい。

2部では近畿大呉工学部が優勝をさらったが、3位まで3勝1敗とまったく予断を許さない。秋季リーグがみものとなろう。

山口大工学部、広島大はともに気力が不足しており、精神的、体力的トレーニングが必要と思う（藤田信義・中四国学連理事長）

日体大が男女優勝

第6回関東学生新人戦は5月27、28、29の3日間、東京駒沢第2球技場に男子21校、女子3校が参加して行われた。

男子は4組に分かれて予選リーグのあと各組上位2校によって決勝トーナメントが争われ、予選リーグでいちど芝浦工大に敗れた日体大が決勝で雪じょく、2年連続優勝を決めた。

女子はリーグ戦の結果、日体大が東女体大に辛くも勝ち連勝した。

▼男子決勝トーナメント1回戦

法政大 17―10 国士館大
芝浦工大 18―11 立教大
日体大 15―6 早稲田大
中央大 不戦勝

▽同準決勝

芝浦工大 23（9―9, 14―6）15 法政大
日体大 16（5―5, 11―6）11 中央大

▽同決勝

日体大 17（10―8, 7―8）16 芝浦工大

▼女子リーグ

日体大 15―4 日女体大
東女体大 21―8 日女体大
日体大 10―9 東女体大

【順位】①日体大②東女体大③日女体大

関西も秋から4部制

関西学生連盟は、今秋のリーグ戦から4部制をしくことになった。

1、2、3部は各6校。4部は今春の3部リーグ戦で7位以下となった5校による。

また、関西学生界初の女子チームとして、大阪体育大が加盟した。

日本ハンドボール協会創始期の思い出

連載第6回　松本良三

感激の連続

斯くして協会が待ちに待った時が来た。それは第十一回明治神宮国民体育大会である。即ち協会が陸連の傘下でなく、自らの名に於て、送球を我国最高のスポーツ祭典に送る機を得たのである。そして、それは私にとって一連の感激的経験となった。

選手のユニフォーム

第一の感激は、大会の数日前に、当時、体協関係の集りが行われた有楽町の毎日新聞の一室で選手のユニフォームを渡された時である。大会参加団の代表者が一人一人、選手のユニフォームを受けたのであるが、最後に「送球協会さん」と呼ばれた時の私の喜びと、周りの入々、殊に陸連関係の人人からの祝辞は、今でも私の胸に迫るものがある。

「頭右」の号令

次の感激は、大会の開会式で送球団の先頭に立って行進し、当日御臨場を給った宮様に対し表敬の礼を行う為、送球団に「頭右」の号令をかけた時である。私が此役目を果すことになったのは、協会の大会、準備委員会での池上金治氏の発言に因るものである。私は此栄ある機会を私に作って下さった池上氏に対し感謝している。

私は小学校、中学校を通じて、よく級長にえらばれ、クラスの誘導などに号令をかけさせられたので、号令をかけるのは、頗か得意であった。然し何といっても長い間、かけなかったので、家に帰ると押入れの中で号令の稽古をした。練習を終って居間に来ると、妻や小供が「パパどうかしたのじゃないかしら」と云ったような顔つきをして私を見た。さすがに気はずかしく、それからは、裏の西郷山の森の中で誰れはばかる所なく練習した。

いよいよ開会式の当日、私は競技場の時計台の下で出を待った。「次、送球協会」の声がかかった。私は姿勢を正し、前方を見た。そして全神経を結集した。行進を起し、貴賓席の手前コーナーに達した頃、右手を前方斜め右に上ると共に、天にもひびけと許り「頭右」の号令をかけた。これぞ私が送球協会と共に生涯忘れ難き感激の一瞬であった。今斯うやって筆を取っていても涙が出る。

外山氏の周到さ

私は此役目を果してから、当日、送球の第二会場となっていた日体のグラウンドで、中学、高専の学生に対し開会の挨拶をすることになっていた。当時、世は既に戦時態勢であり、タクシーは殆んどなく、競技場から日体迄、都電、玉電で行くとなると相当の時間がかかるので、外山君に「電話で、少し遅れるかも知れない」旨を、伝えるように頼んだ。此時外山君は「先生、ガタガタですが、自動車が用意してあります」と言った。いつもながら外山君の知性と周到さ、そして何が起っても驚かない度胸には敬服する。

池上氏の微笑

幸に、予定の時間通り、日体のグランドに着いた。そこには池上氏が居られ準備万端整い、学生生徒は美事に整列して待っていた。池上氏は私に「此壇に上って挨拶するように」と指差された。見ると、それは一間以上もありそうな高いもので、私は内心、それに上るのに恐れを為した。「上らなくてもよい」。と言われたが、私は勇を鼓して台に登り挨拶を述べた。

つい先頃、独乙のティームが来日した時に、その歓迎会の席で、此事を池上氏にお話したら、氏は「あれは海軍関係の学校から譲り受けたもので別あつらいのものだそうです」と言われた。池上氏は体育の専門家であるが、一時政界にも乗り出され、区会議員や市会議員として活躍されたのは周知のことである。氏はいつ御目に掛っても健康其物で、その微笑は常に相手を魅了する。

扨て、次に本大会に於て私が受けた最大の感激、それは岡山の倉敷高女と大阪の梅花高女との決勝戦であるが、その試合ぶりは、次に掲ぐる私の「感想」文で見て載き度い。

「第十一回明治神宮国民体育大会報告書。四六五―六頁。

感　想　　松　本　良　三

紀元二千六百年奉祝第十一回明治神宮国民体育大会に当り、送球は在来の慣行を脱し、陸上競技より分離して独立団体としての参加の機を与えられた。是れ当競技関係者年来の願望であり、役員選手は欣喜して事に当り、その万全を期した。

試合の総括的経過は、一般報告書に譲り、玆には三決勝戦を取上げ聊か感想を述ぶることにする。

先づ女子一般の決勝戦であるが、之れは、畏くも三笠宮殿下台臨の下に岡山代表倉敷高等女学校と大阪代表梅花高等女学校との間に、神宮外苑競技場に於て、十月二十八日午後三時十分より行はれた。試合は二十分ハーフ、十分の中間休憩であった。

試合は稀に見る熱戦となり、観る者はその文字通りの真摯敢闘ぶりに心からの讃辞を贈った。同時に送球は面白い競技であるとの好印象を与へ、送球今後の発展の為に資する所大であった。然し試合は幾分荒きに失し、殊に後半に於て選手は門域附近に蝟集して反則を犯した。結果は五分づつ二回の延長戦となり、遂に三対二で倉敷の制覇となった。いづれの勝利にせよ、両軍が此試合に示せる男子にも優る鋭い気魄は敬服の至りであった。

男子中等学校の決勝戦は十月二十九日午前九時より神宮競技場に於て東京府の青山師範学校と愛知の東邦商業学校との間に行はれた。試合は正規の時間で三十分ハーフで十分の中憩であった。東邦商は青山師範に比して体力、技術共に劣り、殊に持ち込んだ球を定め付ける迫力に乏しく、後半に至り此ティームの特徴たる粘りを示

して、一時青師に肉薄したが、逆に三対五で敗れた。男子中等学校の試合は前日行はれた青山師範対天王寺中学の一戦こそ全試合の帰趨を決せる好試合であった。

男子一般の決勝は二十九日午後一時より神宮競技場で日本体操学校と慶応義塾大学との間に行はれた。試合は十三対五で日体が優勝し、得点の開きは大きかったが、両軍共によく場面を展開して送球独特のロングシュートを運用し、又徒らに反則を躁返して試合の品位を落すが如きことなく、よく敏速に活躍して球の獲得に努めたるは真に正々堂々の戦法であり、現在我国に於ける送球の最高の技術を奉納し得たるものと称すべきであろう。

本年は最初の正式参加であり、種々なる点に於て見透しつかず配意せる所も大であったが、先づ大過なく全試合を了し得たるは一に役員選手諸氏の倦まざる努力の結果であった。国家益々多事にして国民体育の重大なる弥が上にも緊迫を告ぐる此際に此好適なる競技を広く示し得たるは我等の欣快とする所である」。

必勝の決意

私は数限りない運動試合を見、又自ら大事な試合にも参加した。然し、此倉敷、梅花の試合ほど熾烈な人間意欲の躍動に接したことがない。殊に延長戦に入ってからの両軍必勝の決意は、身体は動けないほど疲れながらも最後のスタミナを振り絞つての攻防は涙ぐましいものであった。私は見ているのが辛くなり、斯んな惨い試合のスケデュールをつくった当面の責任者として一種「罪悪感」におそわれるのであった。

勝つも涙、負けるも涙

殊に倉敷のキャプテンが、その技術闘志、又驚くべき統率力を発揮して全軍をひきい、遂に最後の一点を収めると共に、試合終了のホイッスルがなりひびいた。同時に両軍の選手はドット泣きくづれた。これぞ「勝つも涙、負けるも涙」スポーツを知る者のみが知る感激の場面であった。美しき人間性の示顕である。

村山寛氏の足跡

そして私は、日本で、女性がハンドボールに親しむに至って以来短い期間の中に、是れほどのティームを送り出した倉敷のコーチ村山寛氏の御努力に対し深い敬意を表する。その功績は、斯の世界を震撼せしめた日紡貝塚のバレーボール・ティームの生み親大松監督の偉大さに比すべきものがある。

~明日への提言~

全日本学連の組織造りを望む

▽……全日本学連という組織が、いったいどのような活動をしているか、となると満足な答えができる人は少ないだろう。

全日本学生、全日本学生王座、全日本学生選抜東西対抗の主管者とはなっているようだが、開催地最寄の学連や地元県協会が一切をきりまわしてコトを運んでいるのが実情だ。

▽……加盟各学連は全日本学連の一組織なのだから、こうしたことは当然なのかもしれないし、実際に弊害やマイナスが生じているわけでもないのだが、それならなんのために全国統合の機関があるのかということになるだろう。

規約では各学連（現在は東北北海道、関東、北信越、東海、関西中四国、九州の7学連）から理事（OB）、委員（学生）各1名のほかに加盟校5校につきさらに1名づつを加えることができ、少くとも全国から合計56名の役員（理事及び委員）がリストアップされていなければならないのだがついぞそのような話は聞かない。「役員表」はもとより「加盟校名簿」さえも最近はまとめられていないのだ。

昨春、何代目かの理事長に推された安藤純光氏（法大OB、日本協会常務理事）は、関東学連委員に全日本学連の事務処理を頼んで〝連盟〟を守っているありさまだ。

▽……全日本学連理事会も有名無実で懸案事項の解決は「全国代表会議」なるものの席上で行われている。理事会の代行会議なわけだがそれでいて、いっこうに「規約無視」といった非難もあがらないのだから面白い（?）。

しかし、この泰平ムードをいつまでも続けていてよいものだろうか。規約を再検討し、各学連からの理事数をしぼり、濃縮した組織に替えて全日本学生連盟の確立を企るべきではないか。その期はとうに来ていると思う。

学連内に日本協会とは別個の審判・技術・事務などのパートを設けて独自の活動を展開するぐらいの積極さも欲しい。そうすれば、学連（学生界）としての球界に対する発言も強められよう。

▽……他の組織や加盟団体への対抗組織になる必要はもちろんないがせっかく西敏郎会長、安藤理事長というなみなみならぬ情熱家を最高首脳に持っていても、組織固めがないため、学連一丸という結束を示すことができぬのは惜しい。

基盤の広く深い高体連や新興の意気高い実連にこのままでは置きざりにされてしまうことにもなりかねない。7月に松山で今年2回目の全国代表者会議が開かれるそうだが、将来への発展を充分に協議してもらいたいと思う（杉山茂）

◎……この欄への投稿を歓迎します。

立教、同志社に5連勝

東西大学定期戦開幕

東西大学定期戦注目の好カード第18回立教―同志社戦は、6月24日東京・豊島体育館で行われた。関西1位の同志社の試合ぶりに期待されたが、立教は前半巧みな攻撃で大きくリード、同志社は後半互角の戦況だったが、勝利を得るまでにはいたらなかった。立教はこれで5連勝。対戦成績は立教の10勝8敗となった。

立　教 24（10―10／14―5）15 同志社

京大は東大を破る

▼東大―京大定期戦（6月16日・京大）

京都大 27（17―12／10―3）15 東　大

フランスの技術研究（11）

位置のとり方に十分な練習を

訳　藤本　強
（日本協会常務理事）

先回から攻撃編に入り、先回は一般的留意事項をもっとも基本的なものとして、まずとりあげ、攻撃のまず手はじめとして、パスの問題をとりあげた。今日はそれに関連して、重要な基礎の一つである、選手の動きと、動きながらのプレー、選手の位置の交替といった、攻撃拠点を作る際にどうしても必要になるプレーについて、見ていくことにしよう。

選手の動き方・位置の交替および動きながらのプレー

適格なシュートチャンスを作りだし、それを得点に結びつけるためには、パスの項でも述べたように、多くの選手の緊密な連係のもとに行なわれる準備段階のプレーが必要になろう。もっとも強力なシューターを数多く揃え、格段にチーム力の違うチームとの試合の場合には、このような準備動作なしでも、バリバリ得点することは可能であろうが、実力の接近したチーム同士の試合では、どうしても準備動作は必要になってくる。

攻撃の際、もっとも基本的なフォーメーションを使用すると仮定するならば、個々の選手が動く範囲というのは図1に示すごとくになる。これらの位置にそれぞれ、もっとも適した選手を配すのが望ましい。この位置の中でそれなれ位置をかえがぞら、バックを動かすのも一つの手であるが、パスに合せ、互いの位置を交替し、バックのチエンジの瞬間を利用し、パスを通す、あるいは、パスと直接関係ないところで、交替し、バックの気を引きつけ、その瞬間に他の場所でスキを作るといったように二人の選手の間の位置の交替によって、チャンスが生れることは非常に多い。この交替も相手バックのフォーメーション、個々のバックの守備能力によって、多いに様相はかわってこようが、根本はバックを自由に動かし、守備陣形を乱すところに目的はあるのであるから、バックのいないところ、いないところ、攻撃の拠点となるところから、バックを離す方向へ離す方向へと入っていくことが望ましい。

位置の交替は次のような場合が考えられる。

1　横への位置の交替——ポストにいる選手とサイドにいる選手の交替、浮いた位置にいる選手同士の交替。

2　前後の選手の交替——サイドの選手と浮いた位置にいる左右の選手同士の交替、ポストの選手と中央の浮いた位置にいる選手との交替。

3　多くの選手によるローテーション——たとえば、左にいる浮いた位置の選手はパスした後、ポストに入っていく。浮いた位置中央の選手は左の浮いた位置に移動。右の浮いた位置の選手は中央に、ポストプレーヤーは右サイドに、右サイドの選手は右の浮いた位置へとかえる、次は右の浮いた位置の選手がポスト中央に入ることからローテーションがはじまる。

よりすぐれたチームでは、全選手によって、完全なローテーションが行なわれる。これは攻撃側に動き易さを与えると同時に、守備側は常に動かなければならないという圧力を加える。これによって守備側はプレスに出られず、ボールは常に安全であるし、またこの間にブロックなどをおりまぜ、多彩な攻撃をすることができる。

このような動きをすればいいのであるが、いくつかの基本的な事項がある、これは十分に自分のものにしておかなければならない。

1　横の交替

まず第一にボールが他のサイドにある時に行なう。また中央の位置の選手から動きはじめる。ポストの選手がサイドに、中央の浮いた位置の選手がまず左右に動きはじめる。これは重要なことであるというのは、端の方というのは、交替の際にさしたる意味がないからであり、選手を集める位置がまずサイドにあって、中央の攻撃の拠点を作るためには、そこに選手を置かずに、一挙にそこに圧力をかけるのが良い方法と考える。まず中央の選手の動きを見てから、サイドが動くのが常識である。

選手が交替している間は、他のサイドにいる攻撃側の選手も重要

Ail. G.　Ail. D.　Av. C.　Ar. G.　Ar. D.　½ C.

1

Ail. G.　Ail. D.　Point de croisement　Av. C.　Ar. D.　Ar. G.　½ C.

2

な任務をもっている。それはそれぞれについている守備側の選手を十分に自分に釘づけしておくことである。これがなくては、せっかく選手相互の位置交替によって、生み出せるであろう守備のスキもなくなってしまう。そのためには常に小刻みな動きをし、相手を十分に自分に引きつけておかなければならない。

例・サイドとポストのプレーヤーが位置を交替する（第2図）

右サイドでサイドに位置するプレーヤーと浮いた位置右にいるプレーヤーとの間でパスが交換されている間に、ポストの選手と左サイドのプレーヤーとの間で位置を交替する。この場合クロスする位置はポストの選手のスタートが早いのが原則であるため、サイドよりになる。

例　浮いた位置にあるプレーヤー相互の位置の交替（第3図）

ポストのプレーヤーと浮いた位置左のプレーヤーとのパスの交換の際に浮いた位置中央と右のプレーヤーの間で位置を交換する。この際クロスする位置はなるべく右よりにする。というのはそれぞれに直接あたっている守備側プレーヤーを引きつけておくことが大きな課題であるからだ。

2　縦の交替

原則的に云うと、これはエリアラインに近く位置するプレーヤーがまずスタートする。横の交替の時に述べたように攻撃の拠点はエリアラインに置くのが常識でありそこは敵を手薄にするのが理にかなった攻撃であるからだ。

またこの交替の際には、ボールをもっているプレーヤーがパスしながらスタートするのが常識である。

例、右サイドと浮いた位置右のプレーヤーの交替（第4図）。

右サイドのプレーヤーは浮いた位置中央のプレーヤーにパスし、スタートを切る。浮いた位置右はスタートを見た後、スタートする。クロスする地点は中央よりずっと浮いた位置の選手に近くなる。

例、ポストプレーヤーと浮いた位置中央の選手の交替（第5図）

ポストプレーヤーから、浮いた位置左のプレーヤーにパスする。すぐポストプレーヤーはスタートする。このスタートを見た後、浮いた位置中央のプレーヤーはポストに向ってスタートをきる。クロスする位置は前例同様、浮いた位置によった場所となる。

3　1・2を組合みせた場合

この場合も原則的には、1、2の場合と同様である。第6図に示すように、組み合さった動きを示す。

1、後をたどってみると、浮いた位置中央から浮いた位置右へパス。浮いた位置中央と左の交替

2、右サイドと右浮きの間でパス。ポストと左サイドの交替

3、右サイドから浮き中央へパスを返す。右サイドと右浮きの交替を行なう。

4、浮き中央からポストにパスを入れ、浮き中央と右浮きの間で位置の交替

5、ポストから左浮きへパスをする。ポストと浮き中央の位置交替がなされる。

6、左浮きから左サイドへパス、ポストと右サイドの位置交替

7、左サイドから浮き中央へパス左サイドと浮き左の間で位置を代える。

3

4

5

6

第6図と以上のような交替のしかたは、あくまでも図の上のものであり、実戦では、もっと違った局面が多く出てくる。

相手の位置、味方の位置、相手・味方の個々人の技術など、いろいろな要素によって、交替すべき相手、場所、時間がさまざまになってくるのは当然であろう。図の上では、一応の可能性を示したのであり、中央に位置する二人のプレーヤーは三方向に、他の四人のプレーヤーは二方向に進むことが常に可能である。

こういった基本原則を頭に入れておいて、実戦に臨む訳であるが一つどうしても頭に入れておかなければならない鉄則がある。一人の味方が自分の方に走りだしたなら、自動的に原則にしたがって自分も動き出すということである。

そして常に最初に位置していた地点に6人のプレーヤーが配されるようにする。

そして攻撃のやり易いところはシュート時以外には、人は集らない。このことも動きの鉄則としてマスターしなければならない。

連載（第5回）

ハンドボールの歩み ≪世界選手権編⑤≫

戦中・戦後はスウェーデン

第二次大戦中のハンドボールはスウェーデンで発展

男子の7人制ハンドボールは第一回の興隆期を戦前に迎え、その後は第二次世界大戦へ突入、以後はどこの国もスポーツどころではなく、泥沼の戦争へと、ヨーロッパ中が巻きこまれていった。

正に細々ながら、比較的戦火の災の少なかった北欧諸国内もしくは北欧同士、特にスウェーデン、デンマークの間で行なわれていたに過ぎなかった。

しかしながら、第二次大戦中の北欧、特にスウェーデンでの発展はすばらしく、1939年から1948年の10年間にチーム数は百から七百五十にと急激な増加を見せていた。

この時、スウェーデンハンドボール協会の会長をしていたのが、ゲスタ・ビョエルク氏である。氏はスウェーデンでの7人制ハンドボールの急激な発展に非常に力を注ぎ、今日の隆盛の基礎を作るのに成功した。

当時、スウェーデンは11人制ハンドボールを併行して行なっていたが、気候の関係で、一年のうち8ケ月は室内競技を行なわなければならなかったので、主体はあくまでも、7人制ハンドボールであった。

スウェーデンに於いて、7人制独特の技術が大いに、発展していることも、この時期に於いて、この後のハンドボールの歴史を考える上に於いては忘れてはならないことがらである。

第二次大戦中のハンドボールはスウェーデンに於いて、発展し、今日の隆盛の基礎は第二次大戦中のスウェーデンに於ける普及と技術の向上、7人制独特の技術（六人攻撃・六人防御、倒れこみシュート、二線防禦――いわゆる3：3防御）の開発にあるといっても過言ではない。

IHFの再建は1946年のコペンハーゲン総会で

1945年春には、ヨーロッパの戦火が終り、同年夏には、日本の敗戦によって、第二次世界大戦はその終末を迎えた。

国土は荒廃し、種々の物質は欠乏していたが、国際的なハンドボール組織を再編しようという動きは早くからおこり、終戦の翌年の1946年には、デンマークの主都コペンハーゲンに8ケ国の代表が集り、IAHFとは、異った得の国際連盟を役立することになり国際ハンドボール連盟（Intenationale Handball Federation 略称IHF）が創設された。

IHFの創設に主として活躍したのは、開催国のデンマークとゲスタ・ビョエルク氏に率いられたスウェーデンハンドボール協会であった。

IHFの国際競技規則・規定・アマチュア規定はすべてスウェーデン協会が準備をした。

IHFの創設は1946年7月12日コペンハーゲンであった。

この創設には、デンマーク、フィンランド、フランス、オランダ、ノルウェー、ポーランド、スウェーデン、スイスの八ケ国が参加している。現在40ケ国を越える加盟国を有し、年々加盟国が増加しつつあるIHFの現状と考えあわせると、正に今昔の感にたえない。

IHFの初代会長には、すでに先述した7人制ハンドボール発展の基礎を創ったスウェーデンハンドボール協会長ゲスタ・ビョエルク氏が就任し、1950年まで、戦後の混乱期を良くまとめあげて、発展の礎を築いた。

技術委員長には、現在なお、その職にあるスイスのエミール・ホルル氏が就き、IHFはすべり出した。翌1947年には、第1回の国際審判員講習会をデンマークのベーユレで開き、更に1948年には、第一回男子11人制ハンドボール選手権大会をフランスで開いている。この頃から、ハンドボールは大いに発展をしはじめる。

事務所は最初スウェーデンにおかれていた。第二回総会を1948年にパリで、臨時総会を同年パリで開き、1950年には第三回総会をオーストリアのウィーンで開いている。この総会には、13ケ国が参加し、その後ハンドボールの歴史をたどる上に、大きな転機となる総会になった。

バウマン・ワグナー両氏による執行部の成立

1950年のウィーン総会は現在のIHFの執行部の成立という意味において、非常に大きな意義をもっている。

この総会で、ゲスタ・ビョエルク会長は後進に道をゆずり、辞任したい意向を示し、現在のIHF会長、スイスのハンス・バウマン氏が推されて、第二代のIHF会長に就任した。また理事長にもスイスのアルベール・ワグナー氏が就任し、現在の執行部が成立し、その後のハンドボールの発展に大いに貢献した。

この総会でドイツの加盟が認められ、次期総会をザールブリョッケンで開催することが決定した。余談になるが、このザールブリョッケンの総会で日本のIHFの加盟が認められている。

ザールブリョッケン総会は1952年9月に行なわれているが、これに先だつこと三月、1952年6月に第二回男子世界選手権が行なわれ、新加盟なったドイツが優勝している。

この間、国際審判員講習会はスイスのマグリンゲンで1949年に12ケ国参加、1951年にオーストリーのシーライテンで11ケ国参加の下に開催されている。

ザールブリョッケン総会では、従来行なわれていた男子11人制世界選手権に加えて、男子7人制世界選手権を復活することが提案され、可決されている。

その実施については、7人制ハンドボールの当時のリーダーであったスウェーデンに白羽の矢がたち、1954年に開催されることになった。

実に第一回の世界選手権が開かれた1938年から、16年ぶりの復活ということになり、関係者を大いに喜ばせた。

第二回選手権も開催国にスウェーデンが王座につき、実力を示す

第二回男子7人制ハンドボール世界選手権大会 於スウェーデン

1954年1月13日〜17日

第二回大会は16年間の空白の間に発展した7人制ハンドボールの盛況を反映し、7ケ国の新参加国を得、11ケ国で争われることとなった。本大会は6ケ国参加の規模となっていたので、開催国スウェーデンを除いた。ドイツ、チェコスロバキア、デンマーク、スイスフランス、フィンランド、ハンガリー、ノールウェー、オーストリー、スペインの10ケ国で予選が行なわれることになった。

予選は本大会の行なわれる前年1953年11月・12月に各地で行なわれた。当時は現在のように二回戦方式ではなく、一回戦で勝敗が決定した。

▽予選

ドイツ 21—10 フインランド (於ノイミュンスター)

チェコスロバキア 13—8 ハンガリー (於プラハ)

デンマーク 26—11 ノールウェー (於オスロー)

スイス 15—11 オーストリー (於サント・ガレン)

フランス 23—11 スペイン (於ナント)

以上の結果により、本大会は予選通過五ケ国に開催国スウェーデンを加えた六ケ国によって、争われることになり、準決勝リーグを三ケ国ずつに分け行ない、各組の一位同士、二位同士、三位同士によって、それぞれ、一位・三位・五位決定戦を行なう試合方式であった。

A組はスウェーデン、デンマーク、チエコ、B組はドイツ、フランス、スイスであった。

戦前の予想では、A組ではスウェーデンが本命、対抗はデンマーク、B組はドイツが勝つであろうとのことであった。まずこの三ケ国の中から優勝チームがでるのは確実であり、スウェーデンの優勝を確実視する声も強かった。

▽準決勝リーグA組

スウェーデン 16—8 デンマーク (於ゲーテボルグ)

チエコスロバキア 18—13 デンマーク (於イエンケーピンク)

スウェーデン 23—14 チェコスロバキア (於エールブロ)

一位 スウェーデン2勝 二位 チェコスロバキア1勝1敗、三位 デンマーク 2敗

予想通りスウェーデンは圧勝したが、東欧のチエコが早くも頭をもたげてきているのが注目されるところである。

▽準決勝リーグB組

ドイツ 27—4 フランス (於クリスチャンスタッド)

フランス 11—11 スイス (於マルモ)

ドイツ 20—9 スイス (於ルンド)

一位 ドイツ2勝、二位 スイス1敗1分 得失点差マイナス11、三位 フランス1敗1分、得失点差 マイナス23

予想通りドイツの圧勝におおわれた。

▽五位決定戦

デンマーク 23—11 フランス (於ベクスヨー)

▽三位決定戦

チエコスロバキア 24—11 スイス (於ゲーテボルグ)

▽決勝戦

スウェーデン 17—14 ドイツ (1月17日 於ゲーテボルグ)

最終結果

一位 スウェーデン
二位 ドイツ
三位 チェコスロバキア
四位 スイス
五位 デンマーク
六位 フランス

結局、戦中、戦後7人制に力を入れていたスウェーデンの実力勝ちにおわった。ドイツもマイヒルツアツク、ケスラー、ケンパなどで戦ったが、あと一歩のところでおよばなかった。

優勝メンバー (スウェーデン)

GK {ブルスベルグ

BK {オルソン、スドソケンベルグ、ザーハリツソン

FW {リンドクビスト、アケルステット、モベルグ、アルムクビスト、ラルソン、イエンソソン、スューネッリン

全日本高校各県予選記録

★ 太字は代表校　　★ 6月23日まで報告分のみ

東北

▽……青森県（男子のみ）

▼1回戦（準決勝）
鰺ケ沢 29－14 青森
柏木農 18－19 青森商

▽決勝
鰺ケ沢 18－14 柏木農

▽……山形県

▼男子決勝リーグ
大石田 17－5 寒河江
東根工 13－8 新庄工
大石田 26－1 新庄工
東根工 21－7 寒河江
寒河江 16－1 新庄工
東根工 11－10 大石田
【順位】①**東根工**3戦全勝②大石田2勝1敗③寒河江1勝2敗④新庄工3敗

▼女子決勝
竹田女 8－2 米沢女

▽……秋田県

▼男子予選リーグA組 秋田南15－6羽後、大曲18－6羽後、大曲5－4秋田南▽同B組 湯沢11－5大曲農、湯沢27－6横手 大曲農（記録不明）横手

▽同決勝
大曲 9－4 湯沢

▼女子決勝リーグ
秋田和洋 19－5 六郷
大曲 12－2 大曲農
秋田和洋 5－2 大曲
六郷 10－8 大曲農
秋田和洋 10－5 大曲農
大曲 5－2 六郷
【順位】①**秋田和洋**3戦全勝②大曲2勝1敗③六郷1勝2敗④大曲農3敗

▽……岩手県

▼男子予選トーナメント（3試合）
盛岡一 21－11 岩手
盛岡四 16－9 一関工
花巻北 17－14 花巻農

▽同決勝リーグ
盛岡一 12－11 盛岡商
花巻北 19－16 盛岡四
盛岡商 18－16 花巻北
花巻北 10－6 盛岡一
盛岡商 24－8 盛岡四
盛岡一 24－7 盛岡四
【順位】①**盛岡商**2勝1敗（得53失36）②盛岡一2勝1敗（得42、失28）③花巻北2勝1敗（得45、失40）④盛岡四3敗

▼女子予選トーナメント（4試合）
大東 9－4 花巻北
岩手女 13－5 平舘
花巻農 27－1 谷村学院
黒沢尻南 11－7 盛岡二

▽同決勝リーグ
岩手女 9－1 大東
大東 9－6 黒沢尻南
岩手女 8－6 花巻農
花巻農 11－2 黒沢尻南
岩手女 8－4 黒沢尻南

花巻農 12－5 大東

【順位】①岩手女3戦3勝②花巻農2勝1敗③大東1勝2敗④黒沢尻南3敗

▽参考記録

花巻南(前年優勝推せん校) 10－0 黒沢尻南

花巻南 4－2 花巻農

花巻南 15－4 大東

花巻南 10－1 岩手女

▽……宮城県

▼男子1回戦

仙台商 15－14 塩釜

仙台育英 22－12 東北学院

古川工 18－9 祇園寺

仙台 18－13 宮城水産

仙台二 22－4 東北

▽同準々決勝

古川 18－13 仙台育英

古川工 16－6 電子工

仙台二 24－11 仙台

仙台一 13－7 仙台商

▽同準決勝

古川 10－7 古川工

仙台二 11－7 仙台一

▽同決勝

仙台二 8－5 古川

▼女子準々決勝

涌谷 14－13 宮城二女

祇園寺 24－1 仙台女商

古川商 18－5 宮城一女

宮城三女 7－6 古川女

▽同準決勝

涌谷 11－2 祇園寺

古川商 10－8 宮城三女

▽同決勝

涌谷 12－5 古川商

関東

▽……茨城県

▼男子1回戦

石岡一 19－6 鉾田一

竜ケ崎一 19－9 水海道一

常北 13－7 潮来

▽同2回戦

波崎 19－5 磯原

土浦工 14－9 水戸一

笠間 12－6 真壁

勝田工 14－6 下館一

麻生 32－6 土浦三

石岡一 15－8 水戸工

竜ケ崎一 18－4 土浦一

石岡商 11－10 常北

▽同準々決勝

波崎 17－15 石岡商

土浦工 16－7 笠間

石岡一 19－4 勝田工

麻生 12－6 竜ケ崎一

▽同準決勝

麻生 17－5 石岡一

土浦工 23－5 波崎

▽同決勝

麻生 22－10 土浦工

▼女子1回戦

潮来 6－3 磯原

笠間 12－3 石岡商

水戸二 14－5 麻生

太田二 10－3 高萩

鉾田二 15－2 岩井

石岡二 16－3 常北

八郷 17－2 日立二

▽同準々決勝

笠間 22－5 潮来

太田二 18－4 水戸二

石岡二 14－2 鉾田二

水海道二 8－6 八郷

▽同準決勝

水海道二 3－2 石岡二

笠間 14－6 太田二

▽同決勝

水海道二 6－2 笠間

▽……埼玉県

▼男子準々決勝

浦和市立 24－15 朝霞

浦和工 16－12 坂戸

聖望 19－11 春日部

大宮 30－8 川口工

▽同準決勝

浦和市立 26－8 浦和工

大宮 28－11 聖望

▽同決勝

浦和市立 15－6 大宮

▼女子準々決勝

深谷女 26－4 熊谷女

浦和市立 16－0 秩父

浦和南 19－5 朝霞

熊谷商 19－7 聖望

▽同準決勝

深谷女 16－5 浦和市立

浦和南 8－7 熊谷商

▽同決勝

深谷女 7－6 浦和南

▽……神奈川県(男子は代表2校)

▼男子1回戦

大和 29－10 東洋大松田

向の岡工 17－11 多摩

鎌倉学園 26－4 武相

桜丘 18－9 県商工定

▽同2回戦

磯子工 12－9 東

慶応 14－13 日野

法政工 25－8 県相模原

市川崎工 20－5 平沼

法政二 21－17 立野

一商 16－8 関東学院

県商工 17－10 市横須賀工

湘南通信 15－12 翠嵐

三浦 14－7 市川崎

北陵 34－7 新城

希望ケ丘 14－10 大船技術

川和 33－4 神奈川工

相模台工 22－8 大和

向の岡工 16－14 Y校

横浜商工 14－10 鎌倉学園

南 21－12 桜丘

▽同3回戦

相模台工 24－7 慶応

磯子工 17－12 法政工

市川崎工 18－12 法政二

一商 13－11 向の岡工

横浜商工 15－10 県商工

南 13－11 川和

北陵 21－12 希望ケ丘

三浦 22－11 湘南通信

▽同準々決勝

相模台工 50－6 磯子工

一商 22－8 市川崎工

南 21－14 北陵

横浜商工 17－16 三浦

▽同準決勝

相模台工 20－14 一商

南 19－13 横浜商工

▽同決勝

相模台工 16－15 **南**

▼女子1回戦

南 7－6 二保川

北鎌倉 5－3 横浜学園

東 17－1 平沼

市川崎 21－4 上溝

三浦 7－5 明倫

大津 12－6 立野

▽同準々決勝

大津 11－3 川和

市川崎 18－1 三浦

東 6－5 北鎌倉

江南 7－2 南

▽同準決勝

江南 9－2 東

市川崎 10－6 大津

▽同決勝

江南 6－5 市川崎

▽……栃木県

▼男子1回戦(1試合)

宇都宮工 15－4 石橋

▽同準々決勝

足利工 10－7 足利商

国学院栃木 13－7 足利

宇都宮工 23－7 馬頭

烏山 棄権 足利学院

▽同準決勝

栃国学木院 11—3 宇都宮工
足利工 棄権 烏山
▽同決勝
栃国学木院 14—8 足利工
▼女子1回戦(=準々決勝)
小山城南 棄権 足利商
栃木女 25—2 馬頭
▽同準決勝
栃木女 11—4 足利女
栃国学木院 6—2 小山城南
▽同決勝
栃木女 12—0 栃国学木院

▽……山梨県
▼男子1回戦
甲府南 15—11 東洋三
甲府工 21—10 韮崎
谷村 棄権 韮崎工
日川 23—3 大月
機山 13—11 都留
園芸 17—9 甲府一
峡北 10—9 甲府商
▽同準々決勝
塩山商 21—5 甲府南
機山 14—0 甲府工
園芸 21—4 谷村
日川 25—3 峡北
▽同準決勝
塩山商 20—6 機山
日川 9—6 園芸
▽同決勝
塩山商 16—8 日川
▼女子準々決勝(=1回戦)
甲府二 7—2 園芸
日川 15—1 峡北
塩山商 6—3 一商
山梨 シードによる不戦勝
▽同準決勝
山梨 11—6 甲府二
日川 8—6 塩山商
▽同決勝
山梨 8—6 日川

▽……千葉県
▼男子予選ラウンド
木更津 33—9 清水
佐原 17—7 小金
鶴舞 棄権 君津
小金 32—8 清水
▽同決勝リーグ
佐原 26—16 木更津
鶴舞 8—5 小金
佐原 10—7 鶴舞
木更津 23—15 小金
佐原 15—11 小金
鶴舞 22—11 木更津
【順位】①佐原3戦全勝②鶴舞2勝1敗③木更津1勝2敗④小金3敗
▼女子決勝リーグ
昭和学院 12—6 八千代
昭和学院 10—1 国分
佐原女 8—4 八千代
佐原女 21—1 国分
八千代 14—4 国分
昭和学院 6—5 佐原女
【順位】①昭和学院3戦全勝②佐原女2勝1敗③八千代1勝2敗④国分3敗

▽……群馬県
▼男子決勝
富岡 15—7 甘楽農
▼女子決勝
高崎市女 9—8 前橋市女

▽……東京都
(男女とも代表2校)
▼男子決勝リーグA組
中大附属 27—4 錦城
都二商 12—8 久留米
都二商 17—5 錦城
中大附属 26—4 都二商
中大附属 30—4 久留米
錦城 17—10 久留米
①中大附属②都二商③錦城④久留米
▽参考記録
明星 30—6 久留米
明星 26—10 錦城
明星 22—9 都二商
中大附属 18—12 明星
(注) 昨年度優勝の明星高はこの東京予選の結果に関係なく、シード校として、本大会に参加する。
▼男子決勝リーグB組
国立 15—7 葛西工
神代 24—7 都三商
神代 13—10 国立
都三商 14(分)14 葛西工
国立 19—16 都三商
神代 14—6 葛西工
①神代②国立③葛西工④都三商
▼女子決勝リーグ
佼成学園 4(分)4 桜水商
菊華 9—5 都五商
小平 5—1 神代
佼成学園 9—5 菊華
小平 6—5 桜水商
都五商 7—4 神代
菊華 13—11 神代
桜水商 7(分)7 都五商
小平 5—3 佼成学園
小平 10—5 菊華
桜水商 9—5 神代
佼成学園 6—4 都五商
小平 12—5 都五商
桜水商 7—6 菊華
佼成学園 7—6 神代
①小平、②佼成学園、③桜水商、④菊華、⑤都五商、⑥神代

東海

▽……静岡県
▼男子1回戦
二俣 25—2 沼津工
▽同2回戦
清水商 23—4 春野
気賀 23—21 天竜林業
富士 24—9 静清工
静岡東 28—2 吉原商
三島南 15—13 静岡農
裾野 15—14 清水東
御殿場 20—8 沼津東
浜松南 24—5 二俣
▽同準々決勝
清水商 20—9 気賀
静岡東 25—4 富士
三島南 — 裾野
浜松南 — 御殿場
▽同準決勝
清水商 13—7 静岡東
浜松南 25—14 三島南
▽同決勝
清水商 13—8 浜松南
▼女子1回戦
沼津女 9—7 藤枝西
清水女 10—4 浜松南
▽同準々決勝
静岡城北 17—5 沼津女
清水西 12—6 二俣
吉原 12—1 御殿場
清水商 10—2 清水女
▽同準決勝
静岡城北 9—7 清水西
静水商 8—6 吉原
▽同決勝
清水商 7—5 静岡城北

▽……愛知県
(男女とも代表2校)
▼男子決勝リーグ
桜台 17—14 中京
豊橋商 14(分)14 名城大附属
桜台 15—13 名城大附属
中京 17—8 豊橋商
豊橋商 20—14 桜台
中京 14—4 名城大附属
【順位】①中京2勝1敗(得45、失29)②桜台2勝1敗(得46、失47)③豊橋商2勝1敗(得42、失44)④名城大附属3敗
▼女子決勝リーグ
名女商 8—6 高蔵女商
淑徳 9—6 蒲郡

高蔵女商 14－4 蒲郡
名女商 10－9 淑徳
淑徳 7－6 高蔵女商
名女商 19－6 蒲郡
【順位】①名古屋女商3戦全勝②淑徳2勝1敗③高蔵女商1勝2敗④蒲郡3敗

▽…岐阜県

▼男子予選トーナメント1回戦
岐阜南 14－6 岐阜東
木破 9－5 大垣農
岐阜北 15－8 岐阜商
▽同2回戦
加納 17－9 斐太実
多治見工 17－3 岐阜南
岐山 21－3 大垣
益田 14－11 木破
大垣南 13－12 大垣北
岐阜西工 7－4 岐阜北
▽同3回戦
加納 14－4 多治見北
岐山 13－6 益田
岐阜西工 15－10 大垣南
▽同決勝リーグ
加納 13－4 岐阜西工
岐山 7－5 岐阜西工
加納 9－7 岐山
【順位】①加納2勝②岐山1勝1敗③岐阜西工2敗
▼女子予選トーナメント1回戦
岐阜南 6－3 斐太
大垣南 20－6 羽島柳津
鶯谷 8－1 大垣
本巣 棄権 養老女
益田 22－3 大垣北
▽同2回戦
加納 9－0 岐阜南
大垣南 6－5 鶯谷
本巣 8－6 益田
▽同決勝リーグ
加納 11－3 本巣
大垣南 11－4 本巣
加納 8－4 大垣南
【順位】①加納2勝②大垣南1勝1敗③本巣2敗

北信越

▽…長野県

▼男子決勝リーグ
上田 14－12 屋代
坂城 14－6 北佐久農
上田 14－7 坂城
北佐久農 13－11 屋代
坂城 18－9 屋代
上田 17－7 北佐久農
【順位】①上田3戦全勝②坂城2勝1敗③北佐久農1勝2敗④屋代3敗
▼女子決勝リーグ
小諸商 27－2 上田城南
北佐久農 9－4 松本美須丘
小諸商 31－3 松本美須丘
上田城南 13－4 北佐久農
小諸商 25－4 北佐久農
上田城南 12－4 松本美須丘
【順位】①小諸商3戦全勝②上田城南2勝1敗③北佐久農1勝2敗④松本美須々丘3敗

▽…新潟県

▼男準決勝
柏崎工 18－3 明訓
柏崎 16－7 巻
▽同決勝
柏崎工 10－5 柏崎
▼女子決勝リーグ戦
柏崎常盤 15－2 巻
柏崎常盤 22－2 明訓
巻 6－1 明訓
【順位】①柏崎常盤2勝②巻1勝1敗③明訓2敗

▽…石川県

▼男子1回戦
松陵工 12－10 金沢商
泉丘 10（分）10 津幡
＝抽せんで泉丘の勝ち
星稜 10－7 金沢市工
小松工 11－10 松任農
羽咋 16－9 二水
▽同準々決勝
金沢工大附 11－9 星稜
泉丘 12－9 松陵工
石川県工 22－10 羽咋
小松 20－5 小松工
▽同準決勝
石川県工 13－7 小松
泉丘 11－10 金沢工大附
▽同決勝
石川県工 18－11 泉丘
▼女子準々決勝（＝1回戦）
羽咋 8－7 金沢商
松任 8－5 星稜
明徳 18－7 珠州実
▽同準決勝
小松市女 24－4 松任
羽咋 10－5 明徳
▽同決勝
小松市女 12－6 羽咋

▽…福井県

▼男子準々決勝（1回戦）
若狭 21－3 武生
福井商 8－0 敦賀工
藤島 18－2 高志
羽水 シードによる不戦勝
▽同準決勝
若狭 8－6 福井商
羽水 15－4 藤島
▽同決勝
羽水 16－7 若狭
▼女子1回戦
藤島 11－6 羽水
若狭 13－4 武生
▽同準決勝
高志 10－2 藤島
福井商 6－3 若狭
▽同決勝
高志 4－3 福井商

近畿

▽…和歌山県

▼男子予選リーグ
▽A組
桐蔭 19－10 笠田
和歌山商 18－4 市和商
和歌山商 9－8 桐蔭
笠田 15－11 市和商
桐蔭 16－10 笠田
▽B組
那賀 16－9 御坊
那賀 20－5 新宮
御坊 14－10 新宮
▽同決勝トーナメント（準決勝）
御坊 10－9 和歌山商
那賀 29－16 桐蔭
▽同決勝
那賀 19－6 御坊
▼女子決勝リーグ
粉河 4－2 貴和
御坊商工 6－0 和歌山商
粉河 4－1 御坊商工
貴和 5－4 和歌山商
貴和 10－9 御坊商工
粉河 6－5 和歌山商
【順位】①粉河3戦3勝②貴和2勝1敗③御坊商工1勝2敗④和歌山商3敗

▽…奈良県

▼男子予選リーグA組
奈良育英 19－10 畝傍
添上 26－7 奈良育英
添上 棄権 畝傍
▽同B組
奈良 11－10 桜井商
生駒 13－11 奈良
桜井商 16－13 生駒
▽同決勝
添上 21－9 桜井商
▼女子1回戦
生駒 31－1 桜井商
▽同決勝
十津川 10－4 添上
生駒 22－5 郡山

▽同準決勝
十津川 8—4 生駒

▽……兵庫県

▼男子1回戦
明石南 11—7 市神港
柏原 18—13 竜野
県商 19—11 明石
県工 18—14 武庫工
甲陽 20—15 明石商
市神工 21—7 小野工

▽同2回戦
滝川 26—3 明石南
鈴蘭台 22—18 柏原
県工 35—8 東播工
甲陽 1—0 県立兵庫(没収試合)
県商 19—12 尼崎工
村野工 21—13 報徳学園
三田 16—14 西宮東
御影工 24—6 市神工

▽同準々決勝
滝川 32—8 村野工
県工 30—13 鈴蘭台
県商 16—8 甲陽
御影工 15—9 三田

▽同準決勝
滝川 22—17 県工
御影工 19—9 県商

▽同決勝
滝川 23—14 御影工

▼女子1回戦
県工 13—0 佐用
明石商 12—3 須磨女
西宮東 4—0 飾摩
夙川 12—0 県商
明石 12—5 鈴蘭台

▽同準々決勝
甲子園学院 10—4 県工
県尼崎 14—2 明石商
夙川 13—2 西宮東
明石南 10—5 明石

▽同準決勝
甲子園学院 6—3 県尼崎
夙川 10—4 明石南

▽同決勝
甲子園学院 7—4 夙川

中国

▽……岡山県

▼男子準決勝リーグA組
津山商 12—6 児島
倉敷商 12—5 津山商
倉敷商 21—8 児島

▽同B組
関西 14(分)14 天城
玉野 10—9 関西
天城 17—8 玉野

▽同C組
矢掛 9(分)9 落合
矢掛 19—9 操山
操山 10—9 落合

▽同決勝リーグ
倉敷商 15—10 天城
倉敷商 13(分)13 矢掛
矢掛 17—11 天城

【順位】①**倉敷商**3勝1分(準決勝リーグからの通算)②矢掛2勝2敗③天城1勝2敗1分

▼女子決勝リーグ
真備 16—7 津山商
青陵 6—5 井原
真備 6—4 青陵
井原 10—9 津山商
真備 14—2 井原
津山商 5—3 青陵

【順位】①**真備**3勝②青陵1勝2敗(得13、失16)③津山商1勝2敗(得21、失29)④井原1勝2敗(得17、失29)

▽……広島県 (男女とも代表2校)

▼男子1回戦
尾道 20—5 呉商
呉工 21—10 松本商
呉港 11—4 白木
盈進 18—14 宮原

▽同準々決勝
広 22—5 尾道
呉三津田 21—11 呉工
三原工 21—9 呉港
修道 17—12 盈進

▽同準決勝
広 22—10 呉三津田
三原工 10—7 修道

▽同決勝
広 21—18 **三原工**

▼女子1回戦(=準々決勝)
宮原 8—5 白木
広島一女商 4—3 呉商
進徳 21—0 甘日市
山陽女 シードによる不戦勝

▽同準決勝
山陽女 17—2 宮原
広島一女商 5—4 進徳

▽同決勝
山陽女 8—3 **広島一女商**

▽……山口県

▼男子1回戦
南陽工 16—5 岩国商
小野田工 17—8 徳山

▽同2回戦
下関中央工 19—4 南陽工
宇部工 16—13 下関西
下関工 26—9 高森
岩国 16—11 野田学園
下松工 20—4 早鞆
防府商 16—7 高水
岩国工 19—7 下関一
山口 7—3 小野田工

▽同準々決勝
下関中央工 14—4 宇部工
下関工 13—10 岩国
防府商 9—7 下松工
山口 10—9 岩国工

▽同準決勝
下関中央工 9—2 下関工
防府商 7(分)7 山口 抽せんで防府商の勝ち

▽同決勝
下関中央工 16—6 防府商

▼女子1回戦
防府 9—5 岩国
山口中央 13—3 高森
野田学園—宇部女は両校棄権

▽同準々決勝
徳山 12—4 防府
山口中央 16—11 下関西
高水 11—9 徳山商
岩国商 不戦勝

▽同準決勝
徳山 10—5 山口中央
岩国商 12—3 高水

▽同決勝
徳山 7—6 岩国商

▽……島根県
男、**松江工業**
女、**松江市女**

▽……鳥取県 (男子のみ)

▼男子リーグ
境 23—2 倉吉産業
倉吉産業 15—5 境工
境 30—4 倉吉工
倉吉工 9—3 境工
境 11—1 境工
倉吉産業 10—4 倉吉工

【順位】①**境**3戦全勝②倉吉産業2勝1敗③倉吉工1勝2敗④境工3敗

四国

▽……愛媛県

▼男子1回戦
松山工 17—7 新居浜東
今治西 22—19 中島
新居浜商 15—13 松山南
松山東 15—10 今治南

▽同準々決勝
新居浜工 20—7 松山工
松山商 15—14 今治西

新居浜商 15－8 松山北
松山東 13－11 今治工
▽同準決勝
新居浜工 19－7 松山商
新居浜商 13－8 松山東
▽同決勝
新居浜工 25－7 新居浜商
▼女子1回戦
松山商 17－4 今治西
今治南 13－4 新居浜東
東温 22－3 明徳
▽同準々決勝
新居浜商 14－1 松山商
新居浜西 10－3 今治南
大洲農 7－5 東温
土居 11－0 精華
▽同準決勝
新居浜商 10－2 新居浜西
土居 9－3 大洲農
▽同決勝
新居浜商 11－2 土居

▽……香川県

▼男子1回戦
多度津水産 22－14 木田
丸亀 12－9 多度津工
▽同準々決勝
坂出工 25－5 土庄
高松一 30－6 多度津水産
香川 51－1 丸亀
三本松 15－7 高松工芸
▽同準決勝
坂出工 15－7 高松一
三本松 13－11 香川
▽同決勝
坂出工 16－7 三本松
▼女子準決勝
三本松 13－5 香川
観音寺商 8－7 高松女商
▽同決勝
三本松 5－0 観音寺商

九州

▽……大分県

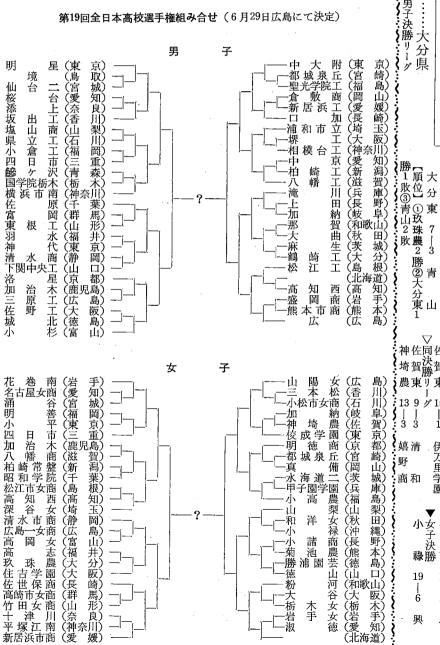
▼男子決勝リーグ
鶴崎工 13－6 大分東
鶴崎工 18－11 大分商
大分東 17－14 大分商
【順位】①鶴崎工2勝 ②大分東1勝1敗 ③大分商2敗
▼女子決勝リーグ
玖珠農 10－1 青山
玖珠農 6－5 大分東
大分東 7－3 青山
【順位】①玖珠農2勝 ②大分東1勝1敗 ③青山2敗

▽……佐賀県（女子のみ）

▼女子予選ラウンド
清和 25－0 伊万里学園
嬉野商 17－0 佐賀女
神埼農 22－0 佐賀女
清和 14－2 神埼農
神埼農 10－6 佐賀東
嬉野商 8－0 伊万里学園
佐賀東 15－1 伊万里学園
▽同決勝リーグ
佐賀東 9－3 清和
神埼農 13－3 嬉野商
清和 11－3 嬉野商
神埼農 10－4 佐賀東
神埼農 12－6 清和
佐賀東 17－0 嬉野商
【順位】①神埼農 ②佐賀東 ③清和 ④嬉野商

▽……沖縄

▼男子決勝
興南 16－11 小禄
▼女子決勝
小禄 19－6 興南

第19回全日本高校選手権組み合せ（6月29日広島にて決定）

◎……北海道代表は男女共6月30日決定

連載・技術教室③

ボールの保持時間と得点の関係（上）

～埼玉国体ハンドボールから～

高　橋　健　夫

（日本協会普及委員）

目　的　本研究は，ハンドボールのゲームにあらわれた結果から，ボールの保持時間と得点の関係，攻撃回数（ボールの保持回数）と勝敗の関係さらに得点とロスタイムの関係を考察して，チームの練習，ゲームの運営，作戦面に役立たせたいという意図にたっておこなったものである．

方　法　各ゲーム，チーム別にストップウオッチを用意して，チーム別ボール保持の時間の計測をした．

また攻撃回数（ボールの保持回数）とシュートについては，チェックによってその回数をしらべた．

Ⅰ　結果と考察

①　ボールの保持時間と得点との関係

第22回国民体育大会ハンドボール競技男女一般，高校および教員の決勝ゲームと，その他12のゲームにあらわれた結果をみると，表１のようになっている．

これによると，高校決勝戦（明星高校―桜台高校）一般準決勝（ＫＫ三景―住友化学）教員決勝戦（大阪イーグルス―埼玉教員）の３ゲームをのぞいては何れも勝チームが敗チームよりボール保持時間の少ない結果となっている．

さらにこの時間を得点との関連によってみるために１点に対する比率にしてみると，表２のようになり，教員決勝のゲームをのぞいた他は何れも勝チームの率が高くなっていることがしられる．

この表の平均値でこの率の比較をしてみると男女とも敗チームは勝チームのほぼ３倍の時間を要したことになっている．

また，もっとも差の大きいものをとりあげてみると，一般男子の大崎電気―熊本ドンキーズのゲームで，得点の 27：９の３倍に対して保持時間の率は 27″2：3′6″2で何と１点を得るためについやした時間は実に 6.8 倍ということになる．次に差のある教員の埼玉教員―山口教員のゲームでも，得点の 2.4 倍に対して，約 6.5 倍の高い値を示している．

唯一の例外としてあらわれている教員決勝の大阪イーグルス―埼玉教員のゲームの内容を更に分析してみると，前半大阪の得点８，１点に対する保持時間 1′42″1，埼玉は得点２，１点に対する時間は 4′15″2 と約 2.5 倍．後半は逆に埼玉が得点 10，所要率は 53′0，大阪得点５，所要率の 2′25″3 となっており，大阪が 2.9 倍の時間を要している．しかし，この所要率を前後半１ゲームの１点に対する所要率と比較してみると，前半 2′19″9，後半 1′27″1となっており，各チームのそれとの差は
{ 大　阪　前半 37″8　後半-1′08″2 }
{ 埼　玉　　　-2′31″3　　　34″1 }
で埼玉の前半の攻めに問題がみいだされ，あながち例外とみられない要素もつかみうるわけである．

②　勝チーム対敗チームのボールの保持時間の比較

次に，勝敗両チームのゲームの運行について考察してみたい．（表３）

これは，勝チームの記録を基準にして，敗チームとの比較をしたもので持時間については，敗チームが多いときは正数で，少ないときを負数であらわし，得点は逆に勝チームの多いときに正数，少ないときに負数としている．又，１点に対する持時間の平均は，各種別の合計による平均の差であらわしたものであるから表の計算ではあわない．表２を参表されたい．

勝チーム対敗チームのボールの保持時間の比較を各種別にみると，先づ一般男女の勝敗両チームの差が明瞭であることがしられる．つまり一試合平均が，前後半で男子は，８分18秒１，女子は６分44秒０と大差がしめされている．また，得点も男子10．７，女子７．７と大差がついているところからみて，一般チームの力量は，勝チームと敗チームの間には隔絶されたものがあるとみることができよう．

これを更に考察すると，女子では，前半の差より後半の差が56秒３と１分近く増加しているのに，男子では３分28秒２と減少している．ついで１点に対する時間によってみると，女子は２分38秒の増加で，男子は57秒の減となっている．つまり後半になると，女子は体力的に衰えが生じ，敗チームに遅攻プレーが増加するが，男子で

チーム別ボール保持時間比較表

（表１）

		チーム名	勝敗	前半	得点	後半	得点	合計	得点
女子	高校	花巻南高校	敗	7′39″3	2	8′42″7	1	16′22″0	3
		栃木女子高校	勝	8′45″7	1	5′24″4	3	14′10″1	4
		計		16′25″0	3	14′07″1	4	30′32″1	7
	一般	大洋デパート	勝	5′29″0	5	4′37″0	7	10′06″0	12
		東京重機工業	敗	9′22″5	4	10′04″0	2	19′26″5	6
		計		14′51″5	9	14′41″0	9	29′32″5	18
		大崎電気工業	勝	5′45″3	7	5′40″4	10	11′25″7	17
		全大阪	敗	8′53″2	3	9′23″0	3	18′16″2	6
		計		14′38″5	10	15′03″4	13	29′41″9	23
		大洋デパート	敗	9′20″8	2	8′29″5	1	17′50″3	3
		田村紡績	勝	7′40″4	4	6′08″8	5	13′49″2	9
		計		17′01″2	6	14′38″3	6	31′39″5	12
男子	高校	明星高校	勝	8′13″6	5	8′24″2	5	16′37″8	10
		岩国工業高校	敗	11′46″5	3	10′19″5	6	22′06″0	9
		計		20′00″1	8	18′43″7	11	38′43″8	19
		明星高校	勝	10′01″8	7	8′20″6	9	18′22″4	16
		桜台高校	敗	8′30″6	4	8′57″8	4	17′28″4	8
		計		18′32″4	11	17′18″4	13	35′50″8	24
	一般	大崎電気	勝	5′52″2	7	6′21″7	20	12′13″9	27
		熊本ドンキーズ	敗	13′54″9	6	14′00″7	3	27′55″6	9
		計		19′47″1	13	20′22″4	23	40′09″5	36
		KK三景	勝	10′40″8	9	12′17″4	12	22′58″2	21
		住友化学菊本	敗	11′24″2	6	9′55″9	8	22′20″1	14
		計		22′05″0	15	22′13″3	20	44′18″3	35
		大崎電気	勝	7′43″4	8	10′26″5	9	18′09″9	17
		全神奈川	敗	15′27″2	5	11′57″8	5	27′25″0	10
		計		23′10″6	13	22′24″3	14	45′34″8	27
	教員	埼玉教員ク	勝	6′17″3	7	5′29″7	17	11′47″0	24
		山口教員団	敗	15′40″9	5	15′57″5	5	31′38″4	10
		計		21′58″2	12	21′27″2	22	43′25″4	34
		大阪イーグルス	勝	9′12″3	14	9′43″6	17	18′55″9	31
		福岡教員ク	敗	11′51″7	6	9′20″5	7	21′12″2	13
		計		21′04″0	20	19′04″1	24	40′08″1	44
		埼玉教員ク	敗	9′42″4	2	8′49″6	10	18′32″0	12
		大阪イーグルス	勝	13′35″4	8	12′56″4	5	26′32″8	13
		計		23′18″8	10	21′46″0	15	45′04″8	25

ボール保持時間の１点に対する割合

（勝チーム）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（表２）

		チーム名	前半	得点	time/1	後半	得点	time/1	合計	得点	time/1
女子	高	栃木女子高	8′45″7	1	8′45″7	5′24″4	3	1′48″1	14′10″1	4	3′32″5
	一般	大洋デパート	5′29″0	5	1′05″8	4′37″0	7	39″7	10′06″0	12	50″5
		大崎電気	5′45″3	7	49″3	5′40″4	10	34″0	11′25″7	17	40″3
		田村紡績	7′40″4	4	1′55″1	6′08″8	5	1′13″8	13′49″2	9	1′32″1
	合計		27′40″4	17	1′37″6	21′50″6	25	52″8	49′31″0	42	1′10″7
	平均		6′55″1	4.25		5′27″7	6.25		12′22″8	10.5	
男子	高	明星高校	8′13″6	5	1′38″7	8′24″2	5	1′40″8	16′37″8	10	1′39″8
		〃	10′01″8	7	1′26″0	8′20″6	9	55″6	18′22″4	16	1′03″9
	一般	住友化学菊本				9′00″7	13	41″6			
		大崎電気	5′52″2	7	50″3	6′21″7	20	19″1	12′13″9	27	27″2
		KK三景	10′40″8	9	1′11″2	12′17″4	12	1′01″5	22′58″2	21	1′05″5
		大崎電気	7′43″4	8	57″9	10′26″5	9	1′09″6	18′09″9	17	1′04″1
	教員	埼玉教員	6′17″3	7	53″9	5′29″7	17	19″3	11′40″0	24	29″3
		大阪イーグルス	9′12″3	14	39″5	9′43″6	17	34″3	18′55″9	31	36″6
		〃	13′36″4	8	1′42″1	12′56″4	5	2′35″3	26′32″8	13	2′02″5
	合計		71′37″9	65	1′06″1	83′00″8	107	46″5	145′30″9	159	54″9
	平均		8′57″2	8.1		9′13″4	11.8		18′11″3	19.87	

（敗チーム）

		チーム名	前半	得点	time/1	後半	得点	time/1	合計	得点	time/1
女子	高	花巻南高校	7′39″3	2	3′49″7	8′42″7	1	8′42″7	16′22″0	3	5′27″3
	一般	東京重機工業	9′22″5	4	2′20″6	10′04″0	2	5′02″0	19′36″5	6	3′14″4
		全大阪	8′53″2	3	2′57″7	9′23″0	3	3′07″7	18′16″2	6	3′02″7
		大洋デパート	9′20″8	2	4′40″4	8′29″5	1	8′29″5	17′50″3	3	5′56″8
	合計		35′15″8	11	3′12″3	35′39″2	7	5′05″6	71′05″5	18	3′57″0
	平均		8′34″0	2.75		8′54″8	1.75		17′05″9	4.5	
男子	高	岩国工業高校	11′46″5	3	3′55″5	10′19″5	6	1′43″2	22′06″0	9	2′27″3
		桜台高校	8′30″6	4	2′07″7	8′57″8	4	2′14″5	17′28″4	8	2′11″1
	一般	奈良クラブ				10′19″3	12	51″6			
		熊本ドンキーズ	13′54″9	6	2′19″2	14′00″7	3	4′40″2	27′55″6	9	3′06″2
		住友化学菊本	11′24″2	6	1′54″0	9′55″9	8	1′14″5	22′20″1	14	1′35″7
		全神奈川	15′27″2	5	3′05″4	11′57″8	5	2′23″5	27′25″0	10	2′44″4
	教員	山口教員団	15′40″9	5	3′08″2	15′57″5	5	3′11″5	31′38″4	10	3′09″8
		福岡教員ク	11′51″7	6	1′58″6	9′20″5	7	1′20″1	21′12″2	13	1′37″9
		埼玉教員ク	9′42″4	2	4′51″2	8′49″6	10	53″0	18′32″0	12	1′32″7
	合計		98′18″4	37	2′39″4	99′38″6	60	1′39″6	188′37″7	85	2′34″3
	平均		12′17″3	4.63		11′04″3	6.67		23′34″7	10.63	

は得点に関係なく速攻プレーの応しゆうで終始される傾向をしめしているのではないかと考えられる．

次に教員チームの試合の結果をみると，平均値では一般男子と同様な傾向を見出すことができるが，大阪対埼玉の特別な値をしめしているゲーム記録があるので，結論を見出すわけにはいかない．

又，高校では数が少ないが，男女３試合の５チームのゲーム運び，体力差はほとんどみられない．

以上の結果から，当然のことながら，ハンドボールの攻撃は，速攻を主体としたチームが，遅攻を主体としたチームより優位であることは立証づけられよう．

（ただしこれらは冒頭に述べたように，第22回国体の試合の中の僅か13試合の結果についてのものであるから決定づけることはさけたい．）

（以下次号）

勝チーム対敗チームのボール保持時間比較　（表３）

女	対戦チーム名	前半	得点	time/1	後半	得点	time/1	合計	得点	time/1
高	栃木女高-花巻高	−1′06″4	−1	4′56″0	3′18″3	2	6′54″6	2′11″9	1	1′54″8
一般	大崎電気-東京重機	3′53″5	1	1′14″8	5′27″0	5	4′22″3	9′20″5	6	2′23″9
	大崎電気-全大阪	3′07″9	4	2′08″4	3′42″6	7	2′33″7	6′50″5	11	2′22″4
	田村紡績-大洋デパート	1′40″4	2	2′45″3	2′20″7	4	7′15″7	4′01″1	6	4′24″8
	合計	8′41″8	7	2′02″9	11′30″3	16	4′45″9	20′12″1	23	3′45″0
	平均	2′53″9	2.3		3′50″1	5.3		6′44″0	7.7	
女子合計		7′35″4	6	1′34″7	13′48″6	18	4′12″8	21′34″5	24	2′46″3
〃平均		1′55″1	1.5		3′27″1	4.5		4′43″1	6	

男	対戦チーム名	前半	得点	time/1	後半	得点	time/1	合計	得点	time/1
高校	明星高校-岩国工高	3′32″9	2	2′16″6	1′55″3	−1	2″4	5′28″2	1	47″5
	〃 -桜台高	−1′31″2	3	41″7	37″2	5	18″9	−54″0	8	1′07″2
	合計	2′01″7	5	1′28″7	2′32″5	4	1″1	4′34″2	9	1′02″3
	平均	1′00″9	2.5		1′16″3	2		2′17″1	4.5	
一般	住友化学-奈良クラブ				1′18″6	1	10″0			
	大崎電気-熊本ドンキーズ	8′02″7	1	1′03″9	7′39″0	1.7	4′21″1	15′41″7	18	2′39″0
	KK三景-住友化学	43″4	3	42″8	−2′21″5	4	13″0	−2″6	7	30″2
	大崎電気-全神奈川	7′43″8	3	2′10″3	1′31″3	4	1′13″9	9′15″1	7	1′40″3
	合計	16′29″9	7	2′26″5	8′07″4	26	1′29″5	24′54″2	32	1′36″5
	平均	5′30″1	2.3		2′01″9	65		8′18″1	10.7	
教員	埼玉教員-山口教員	9′23″6	2	2′14″3	10′27″8	12	2′52″2	19′58″4	14	2′40″5
	大阪イーグルス-福岡教員	2′39″4	8	1′19″1	−23″1	10	45″8	2′16″3	18	1′01″3
	〃 -埼玉教員	−3′54″0	6	3′69″1	−4′06″8	−5	−1′42″3	−8′00″8	1	29″8
	合計	8′09″0	18	2′14″1	5′57″9	17	38″6	14′13″9	33	1′04″0
	平均	2′43″0	5.3		1′59″3	5.7		4′44″6	11	
男子合計		26′39″6	28	1′33″3	16′37″8	47	53″1	43′06″8	73	1′39″0
〃平均		3′20″1	3.43		1′50″9	5.13		5′23″4	9.12	

各地の記録 （寄稿歓迎）

岐阜県で実業団選手権

▼第1回岐阜県実業団選手権（5・月・大洋紡）

▽男子決勝
常盤工業 24（14−3, 10−4）7 日本耐酸壜

▽女子決勝
大洋紡 18（8−1, 10−2）3 豊田紡岐阜

三原工、広を破る

▼第21回広島県高校総体ハンドボール（6月・廿日市高）

▽男子準々決勝
広 33−10 呉港
呉工 23−21 修道
宮原 14−12 三津田
三原工 37−9 呉商

▽同準決勝
広 17−10 呉工
三原工 27−16 宮原

▽同3位決定戦
呉工 28−17 宮原

▽同決勝
三原工 16（9−6, 7−8）14 広
三原工は初優勝

▽女子準々決勝
山陽女 21−4 豊栄
宮原 9−6 白木
進徳 9−4 呉

▽同準決勝
山陽女 19−4 宮原
進徳 5−3 広島一女商

▽同3位決定戦
広島一女商 8−1 宮原

▽同決勝
山陽女 17（8−5, 9−3）8 進徳
山陽女子高は9連勝

広島、社会人は三菱レ

▼広島県社会人選手権（6月・広島商大）＝男子のみ

▽1回戦
盈進ク 18−17 呉造船
日新製鋼 34−18 広島教育団
日本鋼管福山 24−5 中国工業

▽準決勝
三菱レイヨン 35−10 盈進ク
日本鋼管福山 22−11 日新製鋼

▽決勝
三菱レイヨン 24（10−4, 14−8）12 日本鋼管福山

女子で三菱鉛筆勝つ

▼第21回都民体育大会ハンドボール競技（6月・駒沢）＝一般のみ

▽男子準決勝
大崎電気 17−7 八王子市
三景 18−13 千代田印刷機製造

▽同3位決定戦
千代田印刷機製造 不戦勝 八王子市

▽同決勝
大崎電気 24−18 三景

▽女子準決勝
大崎電気 11−5 東京重機
三菱鉛筆 12−5 大崎電二軍

▽同3位決定戦
東京重機 13−9 大崎電二軍

▽決勝
三菱鉛筆 9−5 大崎電気

▼第2回東京城北地区連盟春季トーナメント（6月・井草高ほか）

▽一般男子決勝
陵東ク 21−11 波多ク

▽女子（高校・一般）決勝
小平高 3−1 佼成学園高

▽高校男子決勝
中大付 20−12 神代A

地方協会告知板

岐阜実連が新たに発足

岐阜県実業団連盟が新たに発足した。主要役員次のとおり

▽会長　藤田武雄（近江絹絲）▽理事長　峰岸正之（揖斐川電工）▽常任理事　吉田之、三浦満男　平沢茂▽会計　赤堀努▽監事　川村育男（二村化学）

沖縄協会が移転

沖縄協会事務局及び沖縄高体連ハンドボール部事務所はこのほど沖縄那覇市字真地二四八　真和志（まわし）高校（電(3)〇八一〇）に移転した。

都協会、区単位協会組織へ

東京都協会では今年中に都内に区市郡を単位とした地区協会を組織して発足させることになり関係者に推進を要請している。

全日本教職員の大会要項

日本協会と奈良協会ではこのほど8月24日から26日まで奈良市の県立橿原体育館などで開く予定の第11回全日本教職員選手権の大会要項を発表した。

それによると参加資格は教職に携る者で日本協会に登録済みのものでチーム編成は16名（監督1、選手15）。参加申しこみ書は7月15日までに日本協会（東京都渋谷区神南町25）と奈良協会（奈良県橿原市八木町県立畝傍高校内　森田正英氏）あて送ることになっている。

参加料は一チーム二千円で7月15日までに奈良協会へ納入する。

大会は参加チーム数によってトーナメントまたはリーグ・トーナメントが採られることになっており、組合せ抽せんは7月26日東京で行われる予定。

全日本女子、8月に熊本長崎で第3次合宿

12月の第4回世界女子7人制選手権に出場する全日本女子チーム（田村団長、小袋監督、早川主将ら16人）は、すでに2回の強化合宿を終えたが、第3次強化合宿は7月30日から8月11日まで熊本、長崎の両市で行われることに内定した。

7月30日から8月4日までは熊本市で合宿し、5日に熊本から長崎へ移動、6日から長崎市で始まる第20回全日本総合選手権に特別出場する。（予定）

編集後記

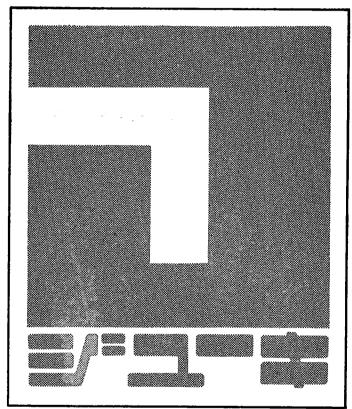
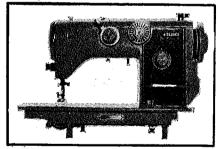
〇……いよいよ夏のシーズンです。

インカレにはじまりインターハイ、総合、教職員と大きな大会がめじろおしに並んでいます。また韓国遠征もあり、梅雨あり空に熱戦が展開されるでしょう。

今号は昨年にひきつづき、インターハイの予選記録を集録しました。年々増加する参加チーム、当初考えていたより、はるかに多くのチームが参加しています。昨年度よりはやや巾を拡げました。

技術講座は今号と次号の二回にわけ、高橋健夫氏の興味ある測定の結果とその分析を掲載します。実証的なデーターの積重ねは重要なことです。北川浩氏からも同様のデーターをいただいています。いずれ折を見て、掲載していきます。悔いのないシーズンを送りましょう。

（T・F）

ミシンはマークで
お選び下さい

*HZD－956*型
ダイカスト・フルオートジグザグ

東京重機工業株式会社
本社工場　東京都調布市国領町８丁目２番地ノ１電話（480）1111番(大代表)

日本ハンドボール協会編
ハンドボール
第五十五号
昭和四十年六月七日第三種郵便物認可
昭和四十三年六月二十五日印刷 昭和四十三年七月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都渋谷区神南町二五
電話 大代表(461)三一一一
振替東京五八三四八番
編集兼発行人 保坂周助
定価百五十円
(年間購読11回・千二百円)